

東北厚生局長 殿

学校法人 岩手医科

理事長 大堀 免

標記について、医療法第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 22 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	83 人
--------	------

(注)前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	348 人	79 人	378.0 人	看護業務補助	41 人	診療エックス線技師	
歯 科 医 師	134 人	0 人	134 人	理学療法士	8 人	臨床 検査	臨床検査技師 79 人
薬 剤 師	54 人	人	54 人	作業療法士	4 人		衛生検査技師 1 人
保 健 師	1 人		1 人	視能訓練士	7 人	そ の 他	
助 産 師	36 人		36 人	義肢装具士		あん摩マッサージ指圧師	4 人
看 護 師	1106 人		1106 人	臨床工学技士	21 人	医療社会事業従事者	9 人
准 看 護 師	5 人		5 人	栄 養 士	10 人	その他の技術員	52 人
歯科衛生士	37 人	人	37 人	歯科技工士	9 人	事 務 職 員	141 人
管理栄養士	12 人	人	12 人	診療放射線技	58 人	そ の 他 の 職 員	72 人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	869.4 人	26.6 人	896 人
1日当たり平均外来患者数	1575.3 人	383.6 人	1958.9 人
1日当たり平均調剤件数	外来 417.5 剤	入院 802.5 剤	

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤件数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。



(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
・顎顔面補綴	0人
・HDRA法又はDC-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験	0人
・超音波骨折治療法	0人
・SDI法による抗悪性腫瘍剤感受性試験	11人
・肝切除手術における画像支援ナビゲーション	7人
・腹腔鏡下スリーブ状胃切除術	3人
・内視鏡下大腸粘膜下層剥離術	2人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人

(注) 1「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。
2「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
・頸部内視鏡手術	3人
・ラジオ波焼却システムを用いた腹腔鏡補助下肝切除術	2人
・再発卵巣がん、原発性腹膜がん、卵管がんに対する標準化学療法とベバシズマブの併用療法及	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人

(注) 1「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。
 2「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

3 その他の高度医療

医療技術名	取扱患者数	1 人
・多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術		
医療技術名	取扱患者数	人
医療技術名	取扱患者数	人
医療技術名	取扱患者数	人
医療技術名	取扱患者数	人
医療技術名	取扱患者数	人
医療技術名	取扱患者数	人
医療技術名	取扱患者数	人
医療技術名	取扱患者数	人
医療技術名	取扱患者数	人

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入するこ

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱い患者数	疾 患 名	取扱い患者数
・ベーチェット病	74人	・膿疱性乾癬	18人
・多発性硬化症	79人	・広範脊柱管狭窄症	0人
・重症筋無力症	82人	・原発性胆汁性肝硬変	55人
・全身性エリテマトーデス	195人	・重症急性膵炎	5人
・スモン	2人	・特発性大腿骨頭壊死症	23人
・再生不良性貧血	50人	・混合性結合組織病	33人
・サルコイドーシス	126人	・原発性免疫不全症候群	6人
・筋萎縮性側索硬化症	33人	・特発性間質性肺炎	8人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	118人	・網膜色素変性症	47人
・特発性血小板減少性紫斑病	68人	・プリオン病	1人
・結節性動脈周囲炎	23人	・原発性肺高血圧症	3人
・潰瘍性大腸炎	145人	・神経線維腫症	33人
・大動脈炎症候群	37人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	4人	・バッド・キアリ (Budd-Chiari) 症候群	1人
・天疱瘡	19人	・特発性慢性肺血栓栓症 (肺高血圧型)	2人
・脊髄小脳変性症	38人	・ライソゾーム病 (ファブリー [Fabry] 病) 含む	1人
・クローン病	111人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	3人	・家族性高コレステロール血症 (純接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	7人	・脊髄性筋萎縮症	3人
・パーキンソン病関連疾患	218人	・球脊髄性筋萎縮症	0人
・アミロイドーシス	6人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	7人
・後縦靭帯骨化症	33人	・肥大型心筋症	1人
・ハンチントン病	3人	・拘束型心筋症	1人
・モヤモヤ病 (ウイルス動脈輪閉塞症)	51人	・ミトコンドリア病	2人
・ウェゲナー肉芽腫症	2人	・リンパ管筋腫症 (LAM)	0人
・特発性拡張型 (うっ血型) 心筋症	54人	・重症多形滲出性紅斑 (急性期)	0人
・多系統萎縮症	27人	・黄色靭帯骨化症	0人
・表皮水疱症 (接合部型及び栄養障害型)	0人	・間脳下垂体機能障害	23人

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方式に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
腹腔鏡下肝切除術	抗EGFR抗体医薬投与前における遺伝子変異検査

(注) 「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方式に先進医療から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1ヶ月に2回	
剖検の状況	剖検症例数 25 例	剖検率 5.6 %

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
肝炎ウイルス感染状況・長期経過と予後調査及び治療導入対策に関する研究	阿部 弘一	内科学講座 消化器・肝臓内科	1,500,000	補 厚生労働省 ⑤ 肝炎等克服緊急対策研究事業 (田中班)
経口感染する肝炎ウイルス(A型、E型)の感染防止、遺伝的多様性、および治療に関する研究	鈴木 一幸	内科学講座 消化器・肝臓内科	1,000,000	補 厚生労働省 ⑤ 肝炎等克服緊急対策研究事業 (岡本班)
B型肝炎ジェノタイプA型感染の慢性化など本邦における実態とその予防に関する研究	滝川 康裕	内科学講座 消化器・肝臓内科	1,000,000	補 厚生労働省 ⑤ 肝炎等克服緊急対策研究事業 (溝上班)
肝発癌抑制を視野に入れた肝硬変の栄養療法のガイドライン作成を目指した総合的研究	鈴木 一幸	内科学講座 消化器・肝臓内科	8,820,000	補 厚生労働省 ⑤ 肝炎等克服緊急対策研究事業 (鈴木班)
糖尿病予防のための戦略研究・課題3	佐藤 譲	内科学講座 糖尿病・代謝内科	3,000,000	委補 国際協力医学研究振興財団
糖尿病多発神経障害の臨床病期分類の確立と病期に基づいた治療ガイドラインの作成	佐藤 譲	内科学講座 糖尿病・代謝内科	600,000	委補 厚生労働省 科学研究費補助金
岩手県内高校生の食生活の現状調査と生活習慣病予防のための食育教材の開発	佐藤 譲	内科学講座 糖尿病・代謝内科	1,000,000	委補 岩手県地域医療研究事業
地域医療に貢献する医師養成のためのバーチャルスライドを利用した学習ツールの開発	石田 陽治	内科学講座 血液・腫瘍内科	250,000	委補 がん臨床研究事業
漢方方剤「抑肝散」によるアルツハイマー病BPSD軽減効果の検証—プラセボ対照無作為臨床第2相比較試験—	高橋 智	内科学講座 神経内科・老年科	1,000,000	委補 認知症対策総合研究事業
J-ADNIコアスタディ:画像・バイオマーカーの解析・活用と臨床研究体制の確立	高橋 智	内科学講座 神経内科・老年科	1,500,000	委補 認知症対策総合研究事業
認知症地域連携マップの作成	高橋 智	内科学講座 神経内科・老年科	1,500,000	委補 長寿医療研究開発費
肥満手術後の脂肪細胞の由来ホルモンの動態と肥満関連遺伝子の解析	佐々木 章	外科学講座	1,000,000	委補 圭陵会学術研究助成金
抗癌剤治療後の再発機序に関わる基礎的検討	西塚 哲	外科学講座	100,000	委補 インテリジェントコスモス学術振興財団
創薬化を目指したglypican-3由来がんペプチドワクチン療法のエビデンス創出のための臨床試験	若林 剛	外科学講座	1,000,000	委補 厚生労働省 科学研究費 医療技術実用化総合研究事業 (中面班)
治癒切除不能進行胃癌に対する減量手術の意義に関する研究	肥田 圭介	外科学講座	1,000,000	委補 厚生労働省 科学研究費 がん臨床研究事業 (辻仲班)
侵襲医療実現のための患部ターゲティング医療開発研究プロジェクト	若林 剛	外科学講座	1,800,000	委補 文部科学省戦略的研究基盤形成支援事業(未来医療)
悪性神経腫瘍に対するTemozolomideの治療効果を増強した標準治療確立に関する研究	別府 高明	高気圧環境医学科	400,000	委補 厚生労働省科学研究費補助金 (H20-がん臨床-一般-019) 渋井班
放射線による認知機能障害を回避する転移性脳腫瘍の治療法に関する研究	小川 彰	脳神経外科学講座	300,000	委補 厚生労働省科学研究費補助金 (H21-がん臨床-一般-012) 山形嘉山
健診データを基盤として、慢性腎臓病該当者の医療費過剰支出と末期腎不全発症リスクを評価するデータベース構築研究	小笠原 邦昭	脳神経外科学講座	主任一括	委補 厚生労働省科学研究費補助金 (H21-腎疾患-一般-003) 藤岡班
一過性脳虚血発作(TIA)の診断基準の再検討ならびにわが国の医療環境に則した適切な診断・治療システムの確立に関する研究	小笠原 邦昭	脳神経外科学講座	700,000	委補 厚生労働省科学研究費補助金 峰松班
包括的脳卒中センターの整備に向けた脳卒中の救急医療に関する研究	小笠原 邦昭	脳神経外科学講座	700,000	委補 厚生労働省科学研究費補助金 飯原班
非侵襲的脳活動計測技術の臨床応用	小笠原 邦昭	脳神経外科学講座	7,000,000	委補 戦略的創造研究推進事業(主任研究者吉岡芳親)CREST
糖尿病患者における心血管イベント発症に関する後ろ向きコホートに関する研究	岡林 均	心臓血管外科学講座	200,000	委補 厚生労働省科学研究費 (循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)
脊髄障害防止の観点からみた胸部下行・胸腹部大動脈瘤 外科治療ないしはステントグラフト治療体系の確立	岡林 均	心臓血管外科学講座	300,000	委補 厚生労働省科学研究費 (循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)荻野班

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
地域医療に貢献する医師養成のためのバーチャルスライドを利用した学習ツールの開発	谷田 達男	呼吸器外科学講座	250,000	補 がん臨床研究事業
医療機器市販後安全情報の医療機関への情報伝達手段等に関する研究	嶋村 正	整形外科科学講座	780,000	補 厚生労働科学研究費補助金 (勝呂徹班)
脊柱変形に合併した胸郭不全症候群の全国実態調査により把握された患者の継続調査と二次性の原因により発症する胸郭不全症候群の全国調査	山崎 健	整形外科科学講座	—	補 難治性疾患克服研究事業
妊婦HIV検査実施率およびHIV感染妊婦とその出生児の動向に関する全国調査	熊谷 晴介	産婦人科学講座	—	補 エイズ対策研究事業
進行卵巣がんに対する分子標的薬の国際共同・医師主導治験	杉山 徹	産婦人科学講座	—	補 がん臨床研究事業
進行卵巣・腹膜癌に対する腹腔内化学療法確立のための研究	杉山 徹	産婦人科学講座	—	補 がん臨床研究事業
新生児危急的心疾患の超音波遠隔診断に関する研究	高橋 信	小児科学講座	500,000	補 森永奉仕会研究奨励金
HIV感染妊婦とその出生児の調査・解析及び診療支援体制の整備に関する総合的研究	葛西 健郎	小児科学講座	120,000	補 厚生労働科学研究費補助金 エイズ研究対策事業 (和田班)
急性高度難聴に関する調査研究	佐藤 宏昭	耳鼻咽喉科学講座	1,000,000	補 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 (小川班)
優性遺伝形式をとる遺伝性難聴に関する調査研究	佐藤 宏昭	耳鼻咽喉科学講座	700,000	補 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 (宇佐美班)
Usher症候群に関する調査研究	佐藤 宏昭	耳鼻咽喉科学講座	700,000	補 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 (宇佐美班)
前庭水管拡大症の臨床所見と遺伝子変異解析に基づく新診断基準作成	佐藤 宏昭	耳鼻咽喉科学講座	700,000	補 厚生労働科学研究費補助金 障害者対策総合研究事業 (喜多村班)
GJB2変異による劣性遺伝性難聴の全国的実態把握	佐藤 宏昭	耳鼻咽喉科学講座	200,000	補 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 (伊藤班)
ステロイド依存症感音難聴の新しい診断法および診断基準に関する検討	佐藤 宏昭	耳鼻咽喉科学講座	500,000	補 難治性疾患克服
小眼球による視覚障害の原因を特定するための疫学調査と診断・治療基準の創成	黒坂 大次郎	眼科学講座	2,000,000	補 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 (仁科班)
先天性白内障の原因究明と診断治療基準の創成	黒坂 大次郎	眼科学講座	1,500,000	補 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 (東班)
オカルト黄斑ジストロフィーの効果的診断法の確立および病態の解明	町田 繁樹	眼科学講座	1,500,000	補 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 (角田班)
健診データを基盤として、慢性腎臓病該当者の医療費過剰支出と末期腎不全発症リスクを評価するデータベース構築研究	藤岡 知昭	泌尿器科学講座	4,699,000	補 腎疾患対策研究事業
自殺対策のための複合的介入法の開発に関する研究	酒井 明夫	神経精神医学講座	700,000	補 障害者対策総合研究事業
精神障害者への対応への国際比較に関する研究	鈴木 満	神経精神医学講座	500,000	補 障害者対策総合研究事業
脊髄障害防止の観点からみた胸部下行・胸腹部大動脈瘤外科治療ないしはステントグラフト治療体系の確立	吉岡 邦浩	放射線医学講座	300,000	補 厚生労働科学研究費
国際共同臨床試験におけるデータ管理に関する研究	曾根 美雪	放射線医学講座	1,000,000	補 がん研究開発費 21指 8-⑦ (荒井班)
緩和ケアにおけるIVRの確立についての研究	曾根 美雪	放射線医学講座	1,000,000	補 厚生労働省がん臨床研究事業 (荒井班)
ARDS患者の呼吸不全評価における全自動マイクロバブルテストの有用性の検討(H20～H21)基盤研究(C)、課題番号2059212	諏訪部 章	臨床検査医学講座		補 委

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
肥満・残存高血圧合併睡眠時無呼吸患者に対する防風通聖散及び大柴胡湯の治療効果の比較と病態生理の解明	櫻井 滋	睡眠医療学科	800,000	補 委補 補助元又は委託元 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
比較・分析による歯科関連職種における国家試験の在り方の研究	石橋 寛二	歯科補綴学講座 冠橋義歯補綴学分野	400,000	補 委補 補助元又は委託元 地域医療基盤開発推進研究事業
歯科の疫学調査における歯科疾患の診断基準ならびに客体数に関する研究	米満 正美	口腔保健育成学講座 口腔保健学分野	2,000,000	補 委補 補助元又は委託元 地域医療基盤開発推進研究事業
健康長寿につながる小児期からの定期的歯科チェックアップシステムの構築	田中 光郎	口腔保健育成学講座 小児歯科学分野	2,000,000	補 委補 補助元又は委託元 厚生労働科学研究費
地域医療に貢献する医師養成のためのバーチャルスライドを利用した学習ツールの開発	佐藤 洋一	解剖学講座 細胞生物学分野	250,000	補 委補 補助元又は委託元 がん臨床研究事業
地域医療に貢献する医師養成のためのバーチャルスライドを利用した学習ツールの開発	澤井 高志	病理学講座 先進機能病理学分野	7,320,000	補 委補 補助元又は委託元 がん臨床研究事業
地域医療に貢献する医師養成のためのバーチャルスライドを利用した学習ツールの開発	菅野 祐幸	病理学講座 先進機能病理学分野	250,000	補 委補 補助元又は委託元 がん臨床研究事業
地域医療に貢献する医師養成のためのバーチャルスライドを利用した学習ツールの開発	黒瀬 顕	病理学講座 先進機能病理学分野	250,000	補 委補 補助元又は委託元 がん臨床研究事業
関節リウマチ骨髄血中の疾患誘導因子解明と根治療法開発研究	澤井 高志	病理学講座 先進機能病理学分野	2,000,000	補 委補 補助元又は委託元 免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業
混合性結合組織病の病態解明と治療法の確立に関する研究	澤井 高志	病理学講座 先進機能病理学分野	1,700,000	補 委補 補助元又は委託元 難治性疾患克服研究事業
バーチャルスライドシステムを用いたがんの病理診断支援のあり方に関する研究	澤井 高志	病理学講座 先進機能病理学分野	1,200,000	補 委補 補助元又は委託元 がん臨床研究事業
前がん状態におけるDNAメチル化異常の意義に関する研究	菅井 有	病理学講座 分子診断病理学分野	1,300,000	補 委補 補助元又は委託元 がん研究開発費
大規模コホート共同研究による生活習慣病発症予防データベース構築とその高度利用に関する研究	坂田 清美	衛生学公衆衛生学講座	700,000	補 委補 補助元又は委託元 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
臨床疫学調査結果・新規免疫検査結果に基づくアトピー性脊椎炎の新規診断基準作成とその国内外での臨床応用	坂田 清美	衛生学公衆衛生学講座	500,000	補 委補 補助元又は委託元 難治性疾患克服研究事業
肥厚性硬膜炎の診断基準作成とそれに基づいた臨床疫学調査の実施ならびに診療指針の確立	坂田 清美	衛生学公衆衛生学講座	500,000	補 委補 補助元又は委託元 難治性疾患克服研究事業
特定疾患の疫学に関する研究	坂田 清美	衛生学公衆衛生学講座	3,000,000	補 委補 補助元又は委託元 難治性疾患克服研究事業
2010年国民健康栄養調査対象者の追跡開始(NIPPON DATE2010)とNIPPON DATE80/90の追跡継続に関する研究	坂田 清美	衛生学公衆衛生学講座	200,000	補 委補 補助元又は委託元 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
医療保険者による特定健診・特定保健指導が医療費に及ぼす影響に関する研究	坂田 清美	衛生学公衆衛生学講座	—	補 委補 補助元又は委託元 政策科学総合研究事業
妊婦HIV検査実施率およびHIV感染妊婦とその出生児の動向に関する全国調査	丹野 高三	衛生学公衆衛生学講座	—	補 委補 補助元又は委託元 エイズ対策研究事業
正常圧水頭症の疫学・病態と治療に関する研究	佐々木 真理	先端医療研究センター 超高磁場MRI診断・病態研究部門	1,000,000	補 委補 補助元又は委託元 難治性疾患研究事業
プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究	佐々木 真理	先端医療研究センター 超高磁場MRI診断・病態研究部門	1,000,000	補 委補 補助元又は委託元 難治性疾患克服研究事業
HIV感染妊婦とその出生児の調査・解析及び診療・支援体制の整備に関する総合的研究	吉野 直人	細菌学講座	7,705,000	補 委補 補助元又は委託元 エイズ対策研究事業
放射線による認知機能障害を回避する転移性脳腫瘍の治療法に関する研究	小川 彰	岩手医科大学	250,000	補 委補 補助元又は委託元 がん臨床研究事業
初期臨床研修制度の評価のあり方に関する研究	小川 彰	岩手医科大学	—	補 委補 補助元又は委託元 地域医療基盤開発推進研究事業

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
-------	-------	------	----	----------

計 件数:72件

金額:88,644,000

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
World Gastroenterol 16(27):3437-3444,2010	Transcatheter arterial chemoembolization with a finepowder formulation of cisplatin for hepatocellular carcinoma	Kasai K Ushio A Sawara K Miyamoto Y Kasai Y Kuroda H Takikawa Y Suzuki K	内科学講座 消化器・肝臓内科
Digestive Endoscopy 22:360-365,2010	Usefulness of endoscopic treatment for duodenal adenoma	Endo M Abiko Y Oana S Kudara N Chiba T Suzuki K Koizuka H Uesugi N Sugai T	内科学講座 消化器・肝臓内科
Digestive Endoscopy 22:S31-S34,2010	Present Stage of endoscopic hemostasis for nonvariceal upper gastrointestinal bleeding	Endo M Higuchi M Chiba T Suzuki K Inoue Y	内科学講座 消化器・肝臓内科
Int.j.Cancer 127:2500-2509,2010	Molecular analysis of gastric differentiated-type intramucosal and submucosal cancers	Sugai T Habano W Endoh M Konishi Y Akasaka R Toyota M Yamamoto H Koeda K Wakabayashi G Suzuki K	内科学講座 消化器・肝臓内科
J Gastroenterol Hepatol 25(9):1550-1555,2010	Effects of branched-chain amino acid-enriched nutrient for patients with hepatocellular carcinoma following radiofrequency ablation : a one-year prospective trial	Kuroda H Ushio A Miyamoto Y Sawara K Oikawa K Kasai K Endo R Takikawa Y Suzuki K	内科学講座 消化器・肝臓内科
Hepatol Res 40(5):550-554,2010	Changes in liver function parameters after percutaneous radiofrequency ablation therapy in patients with hepatocellular carcinoma	Kuroda H Kasai K Kakisaka K Yasumi Y Kataoka K Ushio A Miyamoto Y Sawara K Oikawa K Kondo K Miura	内科学講座 消化器・肝臓内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
		Endo R Takikawa Y Suzuki K	
Hepatogastroenterology 57(101):772-726,2010	Gastric emptying and electrogastrography in reflux esophagitis:results in patients showing endoscopically erosive esophagitis under proton pump inhibitor therapy	Kudara N Chiba T Suzuki K	内科学講座 消化器・肝臓内科
J Epidemiol 20(1):30-39,2010	Standardized prevalence ratios for chronic hepatitis C Virus infection among adult Japanese hemodialysis patients	Ohsawa M Kato K Itai K Tanno K Fujishima Y Konda R Okayama A Abe K Suzuki K Nakamura M Onoda T Kawamura K Sakata K Akiba T Fujioka T	内科学講座 消化器・肝臓内科
Int Clin Oncol 16:221-229,2011	Combination therapy of intra-arterial 5-fluorouracil and systemic pegylated interferon α -2b for advanced hepatocellular carcinoma	Kasai K Ushio A Kasai Y Sawara K Miyamoto Y Oikawa K Kuroda H Takikawa Y Suzuki K	内科学講座 消化器・肝臓内科
Hepatogastroenterology 57:1203-1207,2010	Non-invasive evaluation of liver fibrosis using acoustic radiation force impulse imaging in chronic hepatitis patients with hepatitis C virus infection	Kuroda H Kakisaka K Tatemichi Y Sawara K Miyamoto Y Oikawa K Miyasaka A Takikawa Y Masuda T Suzuki K	内科学講座 消化器・肝臓内科
Med Sci Monit 17(4):cs39-42,2011	Conservative treatment of an aorto-esophageal fistula after endovascular stent grafting for thoracic aortic aneurysm	Kasai K Ushio A Tamura Y Sawara K Kasai Y Oikawa K Endo M Takikawa Y Suzuki K	内科学講座 消化器・肝臓内科
Cell Biology International 34(3):293-299,2010	Characterization of a novel murine preadipocyte line, AP-18, isolated from subcutaneous tissue : Analysis of adipocyte-related gene expressions.	Chen C Takahashi K Yoshida A	内科学講座 糖尿病・代謝内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
		Takizawa Y Lee Y Nakui M Doi H Takebayashi Y Fukumoto M Yamada T Katagiri H Oka Y Sato J	
Diabetes Care 33(3):463-466,2010	Association of the TNF- α -C-857T polymorphism with resistance to the cholesterol-lowering effect of HMG-CoA reductase inhibitors in type 2 diabetic subjects.	Takahashi T Takahashi K Yamashina M Maesawa C Kajiwara T Taneichi H Takebe N Kaneko Y Masuda T Sato J	内科学講座 糖尿病・代謝内科
J Iwate Med Assoc 62(1):59-66,2010	Association of decrease in liver triglyceride content with increase in plasma adiponectin levels after pioglitazone treatment in Japanese patients with type 2 diabetes.	Nagasawa K Kaneko Y Taneichi H Ishii M Masaya M Honma H Kakino S Takahashi K Yoshioka Y Sato J	内科学講座 糖尿病・代謝内科
Diabet Med. 28(1):109-116,2011	Efficacy and safety of pregabalin for treating neuropathic pain associated with diabetic peripheral neuropathy : a 14 week, randomized, double-blind, placebo-controlled trial.	Sato J Yagihashi S Baba M Suzuki M Arakawa A Yoshiyama T Shoji S	内科学講座 糖尿病・代謝内科
Exp Lung Res 36:227-236,2010	Analysis of pulmonary allergic vasculitis with eosinophil infiltration in asthma model of mice.	Yamauchi K Sasaki N Niisato M Kamataki A Shikanai T Nakamura Y Kobayashi H Suwabe A Kanno H Sawai T Inoue H	内科学講座 呼吸器・アレルギー・膠原病内科
Journal of medical microbiology 59:1242-1246,2010	Isolation of legionella rubrilucens from a pneumonia patient co-infected with legionella pneumophila.	Matsui M Fuji S Shiroiwa R	内科学講座 呼吸器・アレルギー・膠原病内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
		Amemura Maekawa J Bin Chang Kura F Yamauchi K	
Internal Medicine 49:1089-1095,2010	Risk factors concerning sternal bone marrow aspiration and patient safety in Japan.	Inoue H Nakasato T Yamauchi K Nakamura Y Oshida S Ehara S	内科学講座 呼吸器・アレルギー・膠原病内科
Japanese Journal of Applied Physiology 40(6):243-249,2010	Multislice helical CT analysis of small-sized airway wall thickness in smokers and patients with bronchial asthma.	Sekimura K Ito H Nakamura Y Kobayashi H Oikawa H Inoue H Ehara S Yamauchi K	内科学講座 呼吸器・アレルギー・膠原病内科
呼吸 29(1):48-54,2010	気管支喘息治療におけるアズマネックス(モメタゾンフランカルボン酸エステル)	山内 広平	内科学講座 呼吸器・アレルギー・膠原病内科
呼吸器内科 18(5):466-472,2010	抗IgE抗体療法(オマリズマブ;ゾレア)	山内 広平	内科学講座 呼吸器・アレルギー・膠原病内科
吸入療法 2(1):32-40,2010	気管支喘息治療における吸入療法の現状とその課題 フランカルボン酸モメタゾンへの期待 重症度・年齢からみた治療戦略	大河原 雄一 山内 広平	内科学講座 呼吸器・アレルギー・膠原病内科
日本医事新報社 1-10,2010	喘息の管理目標、定義、病型、診断、重症度について 気管支喘息(滝澤 始:編)	中村 豊 山内 広平	内科学講座 呼吸器・アレルギー・膠原病内科
日本胸部臨床 69(3):224-233,2010	全身性強皮症および類似疾患、肺病理	佐々木 信人 鎌滝 章央 澤井 高志	内科学講座 呼吸器・アレルギー・膠原病内科
日本臨床 68(5):65-70,2010	概論的事項 関節破壊の病理組織学的特徴 Ⅲ.関節リウマチの成因と病態生理	村上 賢也 鎌滝 章央 佐々木 信人 澤井 高志	内科学講座 呼吸器・アレルギー・膠原病内科
薬学 131(2):185-191,2010	気管支喘息の病態におけるヒスタミンの役割と抗ヒスタミン薬の臨床的有用性の再検証	山内 広平 鹿内 俊樹 中村 豊 小林 仁 小笠原 正人 前山 一隆	内科学講座 呼吸器・アレルギー・膠原病内科
Surgery 147(4):516-520,2010	Tailored laparoscopic resection for suspected gastric gastrointestinal stromal tumors.	Sasaki A Koeda K Obuchi T Nakajima J Nishizuka S Terashima M Wakabayashi G	外科学講座
Ann Surg 251(3):450-453,2010	Laparoscopy-assisted major liver resections employing a hanging technique: the original procedure.	Nitta H Sasaki A Fujita T Itabashi H	外科学講座

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
		Hoshikawa K Takahara T Takahashi M Nishizuka S Wakabayashi G	
Dis Esophagus 23(4):284-289,2010	Laparoscopic Heller myotomy and Dor fundoplication for achalasia: long-term outcomes and effect on chest pain.	Sasaki A Obuchi T Nakajima J Kimura Y Koeda K Wakabayashi G	外科学講座
Pathol Int 60(6):472-476,2010	Primary retroperitoneal spindle cell liposarcoma : pathological and immunohistochemical findings.	Shioi Y Hasegawa T Otsuka K Fujisawa K Itabashi T Kimura T Wakabayashi G Mue Y Uesugi N Sugai T	外科学講座
Asian Journal of Endoscopic Surgery 3(4):180-184,2010	Results of laparoscopic sleeve gastrectomy as a single stage bariatric procedure in Japanese patients	Sasaki A Umemura A Nishizuka S Nakajima J Uesugi N Wakabayashi G	外科学講座
Surgery Today 41(1):33-36,2011	Single-incision laparoscopic gastric resection for submucosal tumors : report of three cases	Sasaki A Koeda K Nakajima J Obuchi T Baba S Wakabayashi G	外科学講座
Asian Journal of Endoscopic Surgery 4:11-15,2011	Laparoscopy-assisted appendectomy through an umbilical port in children	Fukuzawa T Mizuno M Nakajima J Nishizuka S Otsuka K Nitta H Kashiwaba M Koeda K Sasaki A Wakabayashi G	外科学講座
治療学 44(4):115-116,2010	特集 肥満治療 新しい治療 腹腔鏡下スリーブ状胃切除術	佐々木 章 中嶋 潤 大淵 徹 馬場 誠朗 梅邑 晃 若林 剛	外科学講座
治療学 44(4):136-137,2010	症例 腹腔鏡下スリーブ状胃切除術の1患者	佐々木 章 大淵 徹	外科学講座

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
外科 72(4):439-443,2010	関節リウマチに続発した消化管アミロイドーシスによる横行結腸穿孔の1例	若林 剛 御供 真吾 目黒 英二 早川 善郎 小林 慎 高金 明典 若林 剛	外科学講座
バイオチップ実用化ハンドブック NTS出版 東京 167-174,2010	ライセートアレイ	西塚 哲	外科学講座
バイオチップ実用化ハンドブック NTS出版 東京 96-102,2010	その他の検出技術—発色法	西塚 哲	外科学講座
日本外科学会雑誌 111(2):734-734,2010	鼠径ヘルニアにおけるDirect Kugel 法の有用性 Utility of Direct Kugel method in inguinal hernia	馬場 誠朗 下沖 収 板橋 英教 皆川 幸洋 眞壁 健二 吉田 雅一 武田 大樹 小松 英明 鴻巣 正史 阿部 正	外科学講座
CANCER BOARD 3(1):28-38,2010	TC療法 現在のコンセンサス・臨床エビデンスからの視点によるTC療法の展開(解説)	柏葉 匡寛 石黒 洋 大野 慎司 川端 英孝 中村 清吾 坂東 裕子 増田 慎三 戸井 雅和	外科学講座
消化器外科 33(5):685-687,2010	腹水	高原 武志 新田 浩幸 若林 剛	外科学講座
外科治療 102:682-685,2010	【マスターしておきたい縫合・吻合法の実際より安全・確実に 行うために】縫合・吻合法の実際 胸・腹腔鏡手術における 縫合・吻合法の実際 肝・胆手術	伊藤 直子 新田 浩幸 藤田 倫寛 板橋 英教 高原 武志 中嶋 潤 佐々木 章 若林 剛	外科学講座
消化器外科 33(5):972-973,2010	【外科当直医必携】当直における患者・家族との接し方 救急車搬送された患者への接し方	星川 浩一 小鹿 雅博 遠藤 重厚	外科学講座
静脈血栓塞栓症予防ガイドライン —エキスパートオピニオン— 南江堂 東京 167-170,2010	II章 周術期管理の実際 —ガイドラインに基づくエキスパート オピニオン 2 外科手術 D.腹腔鏡下手術	佐々木 章 若林 剛	外科学講座
日本臨床外科学会誌 71(5):1126-1131,2010	切除不能進行大腸癌に対する緩和手術としての人工肛門 造設術症例の検討	梅邑 晃	外科学講座

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
外科 72(5):494-499,2010	腹腔鏡補助下ドナー肝切除	若林 剛 新田 浩幸 高原 武志 伊藤 直子 藤田 倫寛 板橋 英教 佐々木 章	外科学講座
手術 64(5):579-585,2010	腹腔鏡下肝切除の定型手技	伊藤 直子 新田 浩幸 佐々木 章 高原 武志 藤田 倫寛 若林 剛	外科学講座
手術 64(6):863-865,2010	超音波外科吸引装置 (CUSA)	板橋 英教 新田 浩幸 佐々木 章 藤田 倫寛 高原 武志 若林 剛	外科学講座
日本臨床外科学会誌 71(6):1628-1633,2010	続発性消化管アミロイドーシスによる汎発性腹膜炎の1例	梅邑 晃	外科学講座
日本臨床 68(7):1341-1344,2010	Laparoscopic hepato-biliary-pancreatic surgery	Nitta H Sasaki A Wakabayashi G	外科学講座
岩手医学雑誌 62(5):363-375,2010	Characterization of clinically-used anticancer agents by quantitative cellular and molecular assay platforms (細胞分子生物学定量アッセイを用いた承認済抗癌薬反応特性の解析)	Ishida K Nishizuka S Noda H Matsuo T Otsuka K Wakabayashi G	外科学講座
肝胆膵高難度外科手術 1.286-294,2010	腹腔鏡下肝切除と腹腔鏡補助下肝切除	新田 浩幸 若林 剛	外科学講座
日本臨床外科学会雑誌 71(6):1501-1506,2010	Upside down stomach を呈する食道裂孔ヘルニアに胃癌を併存した1例	高橋 正統 肥田 圭介 藤原 久貴 千葉 丈広 佐々木 章 若林 剛	外科学講座
外科 72(6):665-668,2010	Direct Kugel 法を用いて修復した Spigel ヘルニアの1例	大山 健一 千葉 丈広 加藤 久仁之 若林 剛	外科学講座
手術 65(3):337-340,2011	肥満症に対する腹腔鏡下スリーブ状胃切除術	佐々木 章 大淵 徹 梅邑 晃 馬場 誠朗 中嶋 潤 若林 剛	外科学講座
手術 65(3):361-366,2010	腹腔鏡(補助)下肝切除術のコツと注意点	佐々木 章	外科学講座
岩手医学雑誌	Histone deacetylase 6 の発現抑制が肝細胞癌培養株の浸潤・	菅野 将史	外科学講座

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
62(3):203-212,2010	転移能に与える影響	及川 浩樹	
消化器外科 33(9):1431-1438,2010	【腹腔鏡下肝切除】 腹腔鏡補助下による肝切除術	新田 浩幸 佐々木 章 藤田 倫寛 板橋 英教 眞壁 健二 武田 大樹 石橋 正久 片桐 弘勝 星川 浩一 伊藤 直子 高原 高志 高橋 正浩 若林 剛	外科学講座
日本医事新報 4502:79-80,2010	腹腔鏡下ラジオ波焼灼術	若林 剛	外科学講座
肝細胞癌の分子標的治療 175-181,2010	生体肝移植後の肝癌多発肺転移に対して Sorafenib が著効した1症例	高原 高志 新田 浩幸 若林 剛	外科学講座
消化器外科 33(9):1397-1405,2010	世界における腹腔鏡下肝切除の情勢	若林 剛	外科学講座
癌の臨床 56(1):15-18,2010	直腸癌術後腎瘻刺入部再発腫瘍に Mohs chemosurgery を施行した1例	梅邑 晃	外科学講座
日本腹部救急医学会雑誌 30(6):847-850,2010	乳糜腹水を伴った絞扼性イレウスの1例	梅邑 晃 肥田 圭介 木村 祐輔 高橋 正統 若林 剛	外科学講座
癌の臨床 56(9):685-691,2010	腹腔鏡下大腸癌手術の標準化のための教育システム—視聴覚教育 (audio-visual education) を中心に—	大塚 幸喜 板橋 哲也 加藤 久仁之 木村 聡元 箱崎 将規 片桐 弘勝 藤井 大和 藤澤 健太郎 秋山 有史 細井 信之 小原 眞 遠野 千尋 佐藤 一 伊藤 達朗 佐々木 章 若林 剛	外科学講座
腹腔鏡下肝切除術、南山堂 東京 51-54,2010	術式別の手術手技 外側区域切除術	佐々木 章 新田 浩幸 若林 剛	外科学講座
消化器 単孔式腹腔鏡下手術 南山堂 93-100,2010	脾臓 単孔式腹腔鏡下脾臓摘出術	佐々木 章 若林 剛	外科学講座
臨床外科	【外科医のための大腸癌の診断と治療】 大腸癌の外科治療	大塚 幸喜	外科学講座

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
65(1):319-325,2010	腹腔鏡下手術 左半・S状結腸切除術 そのコツとピットフォール	板橋 哲也 木村 聡元 箱崎 将規 加藤 久仁之 藤井 大和 片桐 弘勝 梅邑 晃 木村 祐輔 新田 浩幸 肥田 圭介 水野 大 佐々木 章 若林 剛	
岩手医学雑誌 62(4):227-236,2010	非腫瘍性胆嚢における分離上皮のメチル化解析	塩井 義裕 菅井 有 幅野 涉 佐々木 章 若林 剛	外科学講座
肝・胆道系症候群(第2版) -その他の肝・胆道系疾患を含めて- 94-98,2010	肝中心静脈閉塞症 Venocclusive disease (VOD)	高原 武志 新田 浩幸 若林 剛	外科学講座
南山堂 東京 2010	腹腔鏡下肝切除術	金子 弘真 若林 剛	外科学講座
Digestive Surgery NOW No.11 腹腔鏡下肝切除術と知っておきたい高難易度肝切除術 1:60,2010	腹腔鏡補助下ドナー肝右葉切除術	若林 剛 新田 浩幸 高原 武志	外科学講座
日本臨床 (別冊肝・胆道系症候群II) 1:70-73,2010	肝臓編 肝動脈、肝静脈、門脈系異常 肝外門脈瘤	片桐 弘勝 高原 武志 伊藤 直子 新田 浩幸 若林 剛	外科学講座
癌と化学療法 37(11):2169-2171,2010	放射線化学療法奏効後、根治切除を施行した高度進行食道胃接合部癌の5例	高橋 正統 肥田 圭介 藤原 久貴 千葉 丈広 佐々木 章 若林 剛	外科学講座
癌と化学療法 37(12):2274-2276,2010	シスプラチン剤形変更による抗癌効果	杉立 彰夫 木村 祐輔 板橋 哲也 池田 みゆき 石田 和茂 野田 宏伸 松尾 鉄平 西塚 哲 大塚 幸喜 肥田 圭介 佐藤 綾子 高橋 智輝 若林 剛	外科学講座

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
癌の臨床 56(5):371-375,2010	Cine-MRIによる幽門保存胃切除術後の機能評価	中嶋 潤 佐々木 章 肥田 圭介 馬場 誠朗 西塚 哲 曾根 美雪 江原 茂 若林 剛	外科学講座
外科 72(13):1572-1575,2010	絞扼性イレウスの診断で手術した左傍十二指腸ヘルニアの1例	大淵 徹 下沖 収 佐々木 章 皆川 幸洋 阿部 正 若林 剛	外科学講座
癌の臨床 56(3):205-211,2010	食道癌に対する外科治療の限界	木村 祐輔 岩谷 岳 野田 芳範 鴻巣 正史 西塚 哲 肥田 圭介 大塚 幸喜 新田 浩幸 柏葉 匡寛 佐々木 章 水野 大 若林 剛	外科学講座
外科治療 103(6):613-618,2010	完全直腸脱に対する腹腔鏡下Wells変法直腸固定術	大塚 幸喜 佐々木 章 板橋 哲也 木村 聡元 箱崎 将規 木村 祐輔 新田 浩幸 肥田 圭介 水野 大 若林 剛	外科学講座
治療 92(12):2716-2722,2010	【虫垂炎】「薬で散らす」の功罪	小鹿 雅博 吉川 智宏 秋富 慎司 菊池 哲 小野寺 誠 藤野 靖久 井上 義博 若林 剛 遠藤 重厚	外科学講座
分子細胞治療フロンティア2010 197-204,2010	ライセートアレイを用いた次世代抗癌剤感受性試験の可能性	西塚 哲 石田 和茂 松尾 鉄平 野田 宏伸 岩谷 岳 若林 剛	外科学講座

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
小児外科 43(2):163-165,2011	デブリードマン	水野 大 小林 めぐみ 西塚 哲 木村 祐輔 新田 浩幸 大塚 幸喜 柏葉 匡寛 肥田 圭介 佐々木 章 若林 剛	外科学講座
手術 65(3):309-313,2011	腹腔鏡下系統的肝切除術	伊藤 直子 新田 浩幸 佐々木 章 若林 剛	外科学講座
Journal of Neurosurgery 112(6):1260-1262,2010	Mechanical characteristics and surface elemental composition of a Yasargil titanium aneurysm clip after long-term implantation.	Otawara Y Ogasawara K Kashimura H Kubo Y Ogawa A Watanabe K	脳神経外科学講座
World Neurosurgery 73(4):350-353,2010	Cognitive function and anxiety before and after surgery for asymptomatic unruptured intracranial aneurysms in elderly patients.	Kubo Y Ogasawara K Kashimura H Otawara Y Kakino S Sugawara A Ogawa A	脳神経外科学講座
World Neurosurgery 73(6):688-690,2010	Easy dissection of the interhemispheric fissure for treatment of the anterior communicating artery aneurysm by the pterional approach.	Kashimura H Kubo Y Ogasawara K Kakino S Yoshida K Ogawa A	脳神経外科学講座
Neuroradiology 52(8):735-743,2010	Assessment of damage to cerebral white matter fiber in the subacute phase after carbon monoxide poisoning using fractional anisotropy in diffusion tensor imaging.	Beppu T Nishimoto H Ishigaki D Fujiwara S Yoshida T Oikawa H Kamada K Sasaki M Ogasawara K	脳神経外科学講座
Radiology 256(3):924-931,2010	Brain temperature measured by using proton MR spectroscopy predicts cerebral hyperperfusion after carotid endarterectomy.	Murakami Y Ogasawara K Yoshioka Y Ishigaki D Sasaki M Kudo K Aso K Nishimoto H Kobayashi M	脳神経外科学講座

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
		Yoshida K Ogawa A	
Journal of Nippon Medical School 77(4):221-225,2010	Syringomyelia associated with chiari I malformation treated with foramen magnum decompression and duraplasty using a polyglycolic acid patch and fibrin glue: a case report.	Sugawara A Isu T Kim K Mastumoto R Isobe M Ogasawara K	脳神経外科学講座
Journal of Spine Research 1(7):1303-1308,2010	Japanese Orthopaedic Association Back Pain Evaluation Questionnaire(JOABPEQ): A Validity Study in Patients with Lumbar Spinal Canal Stenosis	Miyamoto M Fukui M Kanamori M Chiba K Taguchi T	整形外科科学講座
The Journal of Rheumatology 38(4):730-737,2011	Cartilage Destruction Is Partly Induced by the Internal Proteolytic Enzymes and Apoptotic Phenomenon of Chondrocytes in Relapsing Polychondritis	Ouchi N Ozaki M Kamataki A Miura Y Sawai T	整形外科科学講座
Journal of Spine Research 2:268-271,2011	The Validity Study of Japanese Orthopaedic Association Back Pain Evaluation Questionnaire(JOABPEQ) for the Patients with Leg Symptom Associated with Lumbar DISC Herniation	Kanamori M Fukui M Chiba K Kawakami M Miyamoto M Nakai S Shimamura T Taguchi T Takeshita K	整形外科科学講座
Medical & Biological Engineering & Computing 1(11):2050-2054,2011	Quantitative differences in intervertebral disc-matrix composition with age-related degeneration.	Murakami H Yoon TS Attallah-Wasif ES Keaiwattanapong C Kikkawa I Hurrion WC	整形外科科学講座
Current Orthopaedic Practice 22(4):309-314,2011	Vascularized bone reconstructive approaches after tumor resection	Nishida J Shimamura T	整形外科科学講座
J.Jpn.Soc.Surg.Hand 27(3):203-206,2010	Free Vascularized fibular graft for tumor of the distal end of the radius	Nishida J Shiraishi H Furumachi K Honda T Shimamura T	整形外科科学講座
Journal of Spine Research 1(11):2050-2054,2010	特発性側弯症に対する dual rod rotation with hook rotation maneuver (DRHRM) (preliminary report)	山崎 健 村上 秀樹 吉田 知史 嶋村 正	整形外科科学講座
Journal of Spine Research 1(11):1982-1985,2010	骨粗鬆症性脊椎圧迫骨折後偽関節に対する後方手術の比較検討	村上 秀樹 山崎 健 吉田 知史 川村 竜平 佐藤 正義 嶋村 正	整形外科科学講座
Monthly Book Orthopaedics	腰部脊柱管狭窄症の疫学調査とQOL調査	山崎 健	整形外科科学講座

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
23(10):11-18,2010	—地方都市における一般住民の有病率と健康関連QOL調査—		
OS NOW Instruction 14:139-148,2010	内視鏡・ナビゲーションを併用した脊椎手術最新の手術手技の見逃せないポイント、特発性側弯症に対するコンピューター・ナビゲーション手術	村上 秀樹 山崎 健	整形外科科学講座
Journal of Spine Research 1(10):1812-1817,2010	ナビゲーション下特発性側弯症手術における椎弓根スクリュー誤刺入の危険因子	村上 秀樹 山崎 健 吉田 知史 内村 瑠里子 八重樫 幸典 嶋村 正	整形外科科学講座
画像診断 30:762-753,2010	骨外生粘液型軟骨肉腫	稲津 和歌子 江原 茂 西田 淳 佐藤 孝	整形外科科学講座
画像診断 30:870-871,2010	脱粉化型脂肪肉腫	赤羽 明生 江原 茂 西田 淳 佐藤 孝	整形外科科学講座
画像診断 30:996-997,2010	変性を伴う神経鞘腫	藪内 伴憲 江原 茂 西田 淳 佐藤 孝	整形外科科学講座
画像診断 30:1260-1261,2010	石灰化腱膜繊維腫	斉藤 聡志 江原 茂 西田 淳 佐藤 孝	整形外科科学講座
画像診断 30:1260-1261,2010	背部弾性繊維腫	金井 杏奈 江原 茂 多田 広志 西田 淳 佐藤 孝	整形外科科学講座
画像診断 30:1398-1399,2010	Glimus腫瘍	吉田 朋世 江原 茂 古町 克郎 西田 淳 小谷 健慈 阿保 亜紀子	整形外科科学講座
東北膝関節研究会会誌 19:21-27	膝のCharcot関節およびステロイド関節症に対する人工膝関節置換手術の成績	内村 瑠里子 一戸 貞文 田島 吾郎 亀井 陽一 黒瀬 理恵 嶋村 正 白倉 義博 丸山 盛貴	整形外科科学講座
東北膝関節研究会会誌 19:41-44	外側円半月板切除後にロッキング症状を生じたOCDの2例	丸山 盛貴 白倉 義博 一戸 貞文 田島 吾郎 亀井 陽一 黒瀬 理恵	整形外科科学講座

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
		佐藤 正義 内村 瑠里子	
東日本整形災害外科学会雑誌 22(39):504,2010	ODEV社Balanced Knee SystemのAdjustable A/P Cut Guideを用いて計測したTKA大腿骨コンポーネント設置外旋角度の検討	吉野 仁浩 星 光彦 駒ヶ嶺 正隆	整形外科学講座
東北整形災害外科学会雑誌 54(1):17-21,2010	脊椎圧迫骨折後に併発した化膿性脊椎炎1例	三又 義訓 村上 秀樹 及川 伸也 大内 修二 小野寺 智彦 嶋村 正	整形外科学講座
東北膝関節研究会誌 20:37-40,2010	副半月板を伴った内側半月板の1例	貝山 潤 大内 修二 岡崎 佳則 一戸 貞文	整形外科学講座
日本脊椎インストゥルメンテーション学会特集号 1(10):1812-1817,2010	思春期特発性側弯症に対する三次元矯正固定法—Vertebral column manipulation (VCM)を用いた矯正法—	山崎 健 村上 秀樹 吉田 知史 嶋村 正	整形外科学講座
ここまで使える創外固定 17:45-50,2011	手指PIP関節周囲の骨折に対する創外固定を用いた治療	古町 克郎 西田 淳	整形外科学講座
整形外科 62(3):233-236,2011	頸椎前縦靭帯骨化途絶部高位の骨棘様骨化巣により嚥下障害をきたした2例	八重樫 幸典 村上 秀樹 吉田 知史 内村 瑠里子 佐藤 博宣 山崎 健 嶋村 正	整形外科学講座
東日本整災会誌 23:58-62,2011	肘部管症候群再手術例の検討	田島 克巳 古町 克郎 内村 瑠里子 西田 淳 白石 秀夫 嶋村 正	整形外科学講座
アトラス骨・関節画像診断4 骨軟部腫瘍 4:18-19,2010	骨腫瘍A 原発性骨腫瘍 軟骨腫(内軟骨腫/骨膜軟骨腫)	西田 淳 嶋村 正	整形外科学講座
東日本整形災害外科学会雑誌 22(4):593-597,2010	鏡視下手術を行った有通性三角骨の1例	菊池 孝幸 沼田 徳生 吉田 渡 佐藤 博宣 嶋村 正	整形外科学講座
東日本整災会誌 23:15-24,2011	関節リウマチにおけるCD14陽性細胞の役割—蛍光二重染色および電子顕微鏡学的解析—	村上 賢也 鎌滝 章央 嶋村 正 澤井 高志	整形外科学講座
東北整形災害外科学会雑誌 55(1):45-48,2011	当センターにおける中枢性麻痺性疾患例の重傷度の変化	北川 由佳 田島 育郎 穴戸 博 本田 恵 田澤 睦夫	整形外科学講座

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
東北整形災害外科学会雑誌 55(1):80-56	腓骨付近部に発生した軟骨肉腫の2例	三又 義訓 西田 淳 白石 秀夫 鈴木 善明 赤坂 俊樹 及川 伸也 村上 賢也 嶋村 正	整形外科学講座
東日本整形災害外科学会雑誌 23:263-267,2011	橈骨遠位端骨折手術における手術成績の検討 —掌側ロッキングプレートと橋渡し型創外固定の比較	佐藤 光太郎 貝山 潤 古町 克郎 西田 淳 鈴木 善明 嶋村 正	整形外科学講座
東北整形災害外科学会雑誌 54(1):48-52,2010	第1肋骨疲労骨折が発症の原因と考えられた胸郭出口症候群の1例	大竹 伸平 西田 淳 佐藤 正義 八重樫 幸典 嶋村 正 阿部 正隆	整形外科学講座
脊柱変形由来の胸郭不全症候群の実態調査とその診断・治療方針の検討 31-34,2011	乳幼児脊柱変形に対しDual Growing Rod法を用い、上下固定端に椎弓スクリューによるアンカーを作成した症例の臨床的研究	山崎 健	整形外科学講座
エキスパート形成再建外科手術 第1版 東京 中山書店 2-9,2010	外鼻再建の戦略と連携 光嶋勲編	小林 誠一郎 柏 克彦 本多 孝之	形成外科学講座
使える皮弁術(上巻)第一版 東京 全日本病院出版会 170-181,2010	内側足底皮弁 —踵再建— 中島龍夫ほか編	柏 克彦 樋口 浩文 小林 誠一郎	形成外科学講座
使える皮弁術(下巻)第一版 東京 全日本病院出版会 10-20,2010	肩甲下動脈皮弁 —肩甲皮弁、広背筋皮弁、肩甲骨皮弁、肋骨弁— 中嶋龍夫ほか編	柏 克彦 小林 誠一郎 木村 裕明	形成外科学講座
使える皮弁術(下巻)第一版 東京 全日本病院出版会 26-37,2010	鼠径皮弁 中嶋龍夫ほか編	柏 克彦 小林 誠一郎	形成外科学講座
形成外科 S62:54,2010	隆起性皮膚繊維肉腫	柏 克彦 小林 誠一郎	形成外科学講座
形成外科 S179:54,2010	血管外薬剤漏出	柏 克彦 小林 誠一郎	形成外科学講座
J Craniofac Surg 21:1810-1812,2010	Alveolar reconstruction by distraction osteogenesis under unfavorable conditions	Kashiwa K Kobayashi S Honda T Nasu W	形成外科学講座
J Reconstr Microsurg 26:577-581,2010	Facial nerve reconstruction using a vascularized lateral femoral cutaneous nerve graft based on the superficial circumflex iliac artery system: an application of the inferolateral extension of the groin flap	Kashiwa K Kobayashi S Nasu W Kuroda T Higuchi H	形成外科学講座
日本マイクロ会誌 23:274-282,2010	外側腓腹筋穿通枝皮弁の挙上手技の実際	柏 克彦 那須 和佳子	形成外科学講座

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
		林 正康 木村 裕明 小林 誠一郎	
形成外科 53:957-966,2010	われわれの非開胸 Nuss 法を含む胸骨挙上術の工夫と長期成績	木村 裕明 小林 誠一郎	形成外科学講座
岩手医科大学歯学雑誌 35:82-88,2010	自然萌出が困難と思われた永久歯が顎裂骨移植後に萌出誘導された3症例	關山 浩子 山内 香子 若林 香枝 金野 吉晃 本多 孝之 小林 誠一郎 三浦 廣行	形成外科学講座
臨床皮膚科 64:879-882,2010	皮膚癌肉腫の1例	時田 智子 本多 孝之 笹生 俊一 赤坂 俊英	形成外科学講座
Blood 116(22):4631-8,2010	Down syndrome and GATA1 mutations in transient abnormal myeloproliferative disorder: mutation classes correlate with progression to myeloid leukemia.	Kanezaki R Toki T Terui K Xu G Wang R Shimada A Hama A Kanegane H Kawakami K Endo M Hasegawa D Kogawa K Adachi S Ikeda Y Iwamoto S Taga T Kosaka Y Kojima S Hayashi Y Ito E	小児科学講座
Leukemia 24:865-9,2010	Specific induction of CD33 expression by E2A-HLF: the first evidence for aberrant myeloid antigen expression in ALL by a fusion transcription factor.	Akahane K Inukai T Inaba T Kurosawa H Look AT kiyokawa N Fujimoto J Goto H Endo M Zhang X Hirose K Kuroda I Honma H Kagami K Goi K	小児科学講座

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
		Nakazawa S Sugita K	
British Journal of Haematology 148:593-9,2010	Quantitative assessment of PTPN11 or RAS mutations at the neonatal period and during the clinical course in patients with juvenile myelomonocytic leukaemia.	Matsuda K Sakashita K Taira C Tanaka-Yanagisawa M Yanagisawa R Shiohara M Kanegane H Hasegawa D Kawasaki K Endo M Yajima S Sasaki S Kato K Koike K Kikuchi A Ogawa A Watanabe A Sotomatsu M Nonoyama S Koike K	小児科学講座
Epilepsy Res 92:201-8,2010	Unique discrepancy between cerebral blood flow and glucose metabolism in hemimegalencephaly.	Uematsu M Haginoya K Togashi N Hino-Fukuyo N Nakayama T Kikuchi A Abe Y Wakusawa K Matsumoto Y Kakisaka Y Kobayashi T Hirose M Yokoyama H Iinuma K Iwasaki M Nakasato N Kaneta T Akasaka M Kamei A Tsuchiya S	小児科学講座
Contrib Nephrol 165:18-27,2010	Pathophysiology of septic acute kidney injury: a different view of tubular injury.	Ishikawa K May CN Gobe G Langenberg C Bellomo R	小児科学講座
Ren Fail 32:349-55,2010	Renal plasma flow and glomerular filtration rate during acute kidney injury in man.	Prowle JR Ishikawa K May CN Bellomo R	小児科学講座

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Intensive Care Med 36(3):533-40,2010	The impact of experimental hypoperfusion on subsequent kidney function.	Saotome T Ishikawa K May CN Birchall IE Bellomo R	小児科学講座
Heart and Vessels 25:270-273,2010	Prenatal diagnosis of polymorphic ventricular tachycardia using 64-channel magnetocardiography.	Fukushima A Nakai K Matsumoto A Strasburger J Sugiyama T	小児科学講座
日小児会誌 114:1178-1184,2010	サーファクタント補充療法の成功がもたらしたものの	千田 勝一	小児科学講座
日肺サーファクタント界面医誌 41:19-23,2010	人工的夏眠状態のアフリカ産肺魚呼吸の形態学的研究	松村 豪一 秋谷 昭治 佐々木 美香 千田 勝一 佐藤 茂 高橋 常雄 武井 恒知	小児科学講座
小児内科 42増刊:800-802,2010	呼吸窮迫症候群	千田 勝一	小児科学講座
Neonatal Care 2010春期増刊:29-31,2010	SMTで肺成熟ありと判定されたらRDSにはなりませんか？	千田 勝一	小児科学講座
Neonatal Care 2010春期増刊:32-33,2010	どのような新生児に心拍呼吸モニタを装着したらよいですか？	千田 勝一	小児科学講座
Neonatal Care 2010春期増刊:34-36,2010	モニタ上PO ₂ とPO ₂ が正常と判断されたら、血液検査は不要ですか？	千田 勝一	小児科学講座
Neonatal Care 2010春期増刊:37-39,2010	血液ガス検査の検体はどこから採取したらよいですか？	千田 勝一	小児科学講座
胸部外科 63:466-469,2010	胸痛および失神を呈した若年者の大動脈炎症候群に対するOPCAB	熊谷 和也 金 一 向井田 昌之 小山 耕太郎 高橋 信 佐藤 陽子 岡林 均	小児科学講座
日小循誌 26:1-2,2010	医療崩壊、地域、希望—医療格差の時代を生き延びる—	小山 耕太郎	小児科学講座
心エコー 11:850-857,2010	Fallot四特徴症修復術後の肺動脈弁逆流と山岸弁—bulging sinus 付き Gore-Texパッチと fan-shaped Gore-Tex弁を用いた右室流出路形成—	小山 耕太郎	小児科学講座
Neonatal Care 2010春期増刊:182-183,2010	X線写真なしでサーファクテンを投入してもよいですか？	葛西 健郎	小児科学講座
Neonatal Care 2010春期増刊:184-185,2010	サーファクテンは5分割して投入しなくてはいけませんか？	葛西 健郎	小児科学講座
Neonatal Care 2010春期増刊:186-187,2010	RDS以外にサーファクテンを投入することがありますか？	葛西 健郎	小児科学講座
臨血 51:104-113,2010	再発および難治性急性白血病患者を対象としたシタラビン大量療法の寛解導入効果	堀越 泰雄 小林 良二 遠藤 幹也 渡辺 新	小児科学講座

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
		菊田 敦 小池 和俊 花田 良二 細谷 亮太 小原 明 生田 孝一郎 後藤 裕明 浅見 恵子 杉田 完爾 堀部 敬三 鶴澤 正仁 堀 壽成 原 純一 西村 真一郎 永利 義久 麦島 秀雄 太田 茂 足立 壯一 月本 一郎	
日小児腎不全会誌 30:17-19,2010	NICU nephrology 新生児に対する血液浄化療法	高田 彰	小児科学講座
日児腎誌 23:214-218,2010	持続血液透析濾過で改善した重症血球貧食性リンパ球組織球症の小児例	小野 ひろみ 高田 彰 佐々木 慎 中辻 幸恵 石川 健 遠藤 幹也 千田 勝一	小児科学講座
日小児救急医会誌 10(1):71-75,2011	乳児ボツリヌス症の2例	赤坂 真奈美 亀井 淳 曾我 菜海 佐々木 慎 浮津 真弓 白澤 聡子 千田 勝一	小児科学講座
てんかん研 28:416-421,2011	パルプロ酸とACTHの併用による低フィブリノゲン血症	曾我 菜海 赤坂 真奈美 亀井 淳 佐々木 慎 遠藤 正宏 鈴木 悠 松下 翔子 千田 勝一	小児科学講座
日本耳鼻咽喉科学会 113(8):679-686,2010	外傷性鼓膜穿孔に関する臨床的検討	山崎 一春 石島 健 佐藤 宏昭	耳鼻咽喉科学講座
Audiology Japan 53(4):24-250,2010	急性低音障害型感音難聴をめぐる諸問題	佐藤 宏昭	耳鼻咽喉科学講座
Auris Nasus Larynx 38(2):295-299,2011	A case of hemodialysis-associated amyloidosis localized to the external auditory canal.	Yamazaki K Sato H Ishijima K	耳鼻咽喉科学講座

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
		Abe T. Ishikawa K	
Br J ophthalmol 94:202-208,2010	Sensitivity and specificity of photopic negative response of focal electrorretinogram to detect glaucomatous eyes	Machida S Tamada K Yokoyama D Kaneko M Kurosaka D	眼科学講座
あたらしい眼科 27(10):1445-1448,2010	岩手県におけるマイクロケラトロンでの直接採取強角膜片の細菌学的ならびに角膜内皮細胞密度の検討	木村 桂 工藤 利子 江川 勲 浦上 千佳子 鎌田 有紀 黒坂 大次郎	眼科学講座
臨床眼科 64(11):137,2010	小児の度数決定	黒坂 大次郎	眼科学講座
Jpn J Ophthalmology 54:458-466,2010	Pharmacologic Dissection of Multifocal Electrorretinograms of Rabbits with Pro347Leu Rhodopsin Mutation	Yokoyama D Machida S Kondo M Terasaki H Nishimura T Kurosaka D	眼科学講座
Jpn J Ophthalmol 54:509-511,2010	Depolarizing Focal Macular Electrorretinogram Pattern After Photodynamic Therapy in a Patient with Polypoidal Choroidal Vasculopathy	Nishimura T Machida S Tamada K	眼科学講座
Progress in Medicine 30(5):1277-1279,2010	特集:内科医のための眼疾患の診かたと治療 4.高齢者に多い眼疾患の診断と治療 2)加齢性白内障	黒坂 大次郎	眼科学講座
あたらしい眼科 27:117-121,2010	黄斑部局所のERGの機能評価について教えてください	町田 繁樹	眼科学講座
あたらしい眼科 27:229-231,2010	多局所ERGを用いたRGC評価は可能でしょうか?	町田 繁樹 金子 宗義	眼科学講座
Jpn J. Ophthalmol 54:505-507,2010	Punctate Inner Choroidopathy in Mother and Daughter	Sugawara E Machida S Fujiwara T Kurosaka D Hayakawa M	眼科学講座
IOL&RS 25(1):85-89,2011	水晶体乳化吸引術における創口およびサイドポートからの灌流液の漏れの影響	鎌田 有紀 木澤 純也 黒坂 大次郎	眼科学講座
最新医学社 115-124,2011	最新医学・別冊 新しい診断と治療のABC45 腎癌・膀胱癌 改訂第2版 第1章 腎癌 診療ガイドライン	藤岡 知昭 小原 航 (木原 和徳:編)	泌尿器科学講座
臨床泌尿器科(医学書院) 65(4増):189-190,2011	こんなときどうする!? —泌尿器科手術のトラブル対処法 IV開腹手術 ■尿管全摘術 067 尿管下端から壁内尿管までの剥離が難しい	小原 航	泌尿器科学講座
臨床泌尿器科(医学書院) 65(4増):200-201,2011	こんなときどうする!? —泌尿器科手術のトラブル対処法 IV開腹手術 ■尿管全摘術 071 CTで確認した腫瘍が見当たらない	小原 航	泌尿器科学講座
麻酔 60(3):377-379,2011	麻酔覚醒後に緊張性気胸となった1例	田村 雄一郎 永田 博文 相澤 純	泌尿器科学講座

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
		鈴木 健二 小原 航 伊藤	
日本臨床 69(5増):150-154,2011	前立腺癌(第2版) —基礎・臨床研究のアップデート— I.基礎 進行前立腺癌に対する新戦略 前立腺癌進展メカニズムに基づく新規治療開発の動向	岩崎 一洋 小原 航 藤岡 知昭	泌尿器科学講座
臨床泌尿器科(医学書院) 65(1):69-71,2011	陰嚢内に発生した神経鞘腫症	佐藤 健介 島谷 蘭子 小原 航 藤岡 知昭 小谷 康慈 増田 友之	泌尿器科学講座
臨床泌尿器科 64(12):879,2010	Focus PSA検診は有効か 本企画にあたって	藤岡 知昭	泌尿器科学講座
日泌2010年卒後教育テキスト 15(1):170-178,2010.4	第7章 下部尿路閉塞性疾患:前立腺肥大症の診断と治療 II.前立腺肥大症の診断と治療	大森 聡	泌尿器科学講座
臨床泌尿器科 64(4増):261-263,2010.4	泌尿器科検査のここがポイント K 超音波検査【各種臓器の超音波検査】超音波検査による残尿測定 「Q67残尿測定の方法、近似式の使い方について教えてください。」	大森 聡	泌尿器科学講座
EBM透析療法(中外医学社) 56-60,2010-2011	II.血液浄化法の選択と条件設定 3.急性腎障害に対し、どのタイミングで血液浄化療法を開始し、どの治療法を選択するべきか?	阿部 貴弥 藤岡 知昭 深川 雅史、 秋澤 忠男:編	泌尿器科学講座
Urology View 8(5):19-24,2010	【Urological Oncologist の必須知識 癌治療認定に向けて】 腫瘍免疫 最新の知見(解説/特集)	小原 航 岩崎 一洋 高田 亮 大森 聡 丹治 進 藤岡 知昭	泌尿器科学講座
Urology View 8(4):78-83,2010	【小径腎腫瘍の診断と治療Update】小径腎腫瘍に対する Cryosurgery (解説/特集)	小原 航 藤岡 知昭 最上 拓児 原田 潤太	泌尿器科学講座
中外医学社 426-428,2010	【2011-2012 EBM がん化学療法・分子標的治療法】 筋層浸潤膀胱がんの術後補助化学療法は有効か?	小原 航 藤岡 知昭 西條 長宏:監修	泌尿器科学講座
中外医学社 429-431,2010	【2011-2012 EBM がん化学療法・分子標的治療法】 筋層浸潤を有する膀胱がんの術前化学療法は有効か?	小原 航 藤岡 知昭 西條 長宏:監修	泌尿器科学講座
泌尿器外科 23(5):715-718,2010.5	連載 第12回 —泌尿器科における各種ガイドラインの読み方— 胃癌診療ガイド	小原 航 藤岡 知昭	泌尿器科学講座
日本臨床 68(4増):67-72,2010.4	腎・泌尿器癌—基礎・臨床研究のアップデート I.胃癌 臨床研究 診断 腎癌診療ガイドライン	小原 航 藤岡 知昭	泌尿器科学講座
日本臨床 68(4増):155-158,2010.4	腎・泌尿器癌—基礎・臨床研究のアップデート I.胃癌 臨床研究 治療 腎癌の分子標的薬 その他の分子標的薬	小原 航 岩崎 一洋 藤岡 知昭	泌尿器科学講座
膀胱癌FRONTIER 2(1):38-41,2010	—腫瘍マーカーの進歩— MVAC感受性予測遺伝子検査法	高田 亮 小原 航 加藤 陽一郎 片桐 豊雅 中村 祐輔	泌尿器科学講座

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
		藤岡 知昭	
外科治療 103:564-569,2010	外科診療に必要な漢方治療の知識: 排尿異常に対する漢方治療	岩崎 一洋 藤岡 知昭	泌尿器科学講座
岩手医誌 62(3):145-153,2010	MRIによる膀胱癌の化学療法の効果判定の検討	常盤 傑 大森 聡 曾根 美雪 江原 茂	泌尿器科学講座
臨床泌尿器科(医学書院) 64(4増):214-218,2010.4	泌尿器検査のここがポイント MRI検査 Q56.膀胱がんのMRI所見、鑑別診断について教えてください	常盤 傑 曾根 美雪	泌尿器科学講座
臨床泌尿器科(医学書院) 64(6):433-437,2010.5	メスナ、アドリアマイシン、イホスファミドおよびダカルバジン 併用療法が奏効した再発性後腹膜平滑筋肉腫	松浦 朋彦 加藤 廉平 小原 航 藤岡 知昭 上杉 憲幸 菅井 有	泌尿器科学講座
泌尿器科紀要 56(8):453-456,2010	Levofloxacin耐性大腸菌により経直腸的前立腺生検後に敗血症 ショックに陥った1例	加藤 廉平 鈴木 泰 松浦 朋彦 佐藤 健介 島谷 蘭子 藤島 洋介 常盤 傑 小原 航	泌尿器科学講座
臨床泌尿器科(医学書院) 64(5):345-348,2010.4	画像診断 慢性腎不全患者においてPET/CT検査を契機に発見 された膀胱癌	加藤 廉平 常盤 傑 小原 航	泌尿器科学講座
JJCO(Japanese Journal of Clinical Oncology) 40(7):684-689,2011	Successful outcomes using combination therapy of interleukin -2 and interferon- α for renal cell carcinoma patients with lung metastasis.	Akaza H Kawai K Tsukamoto T Fujioka T Tomita Y Kitamura T Ozono S Miki T Naito S Zembutsu H Nakamura Y	泌尿器科学講座
Auris Nasus Larynx 38(2011):295-299,2011	A case of hemodialysis- amyloidosis localized to the external auditory canal.	Yamazaki K Sato H Ishijima K Abe T Ishikawa K	泌尿器科学講座
J Urol 2011,June 185:2353-2358,2011	Brain-Specific Angiogenesis Inhibitor 1 is a Putative Factor for Inhibition of Neovascular Formation in Renal Cell Carcinoma	Izutsu T Konda R Sugimura J Iwasaki K Fujioka T	泌尿器科学講座
EXPERIMENTAL AND THERAPEUTIC MEDICINE 1 2:47-56,2011	Predicting response of bladder cancers to gemcitabine and caboplatin neoadjuvant chemotherapy through genome-wide gene expression profiling	Kato Y Zembutsu H Takata R Mita F	泌尿器科学講座

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
		Tsunoda T Obara W Fujioka T Nakamura Y	
Blood Purif 32(2011):43-47,2011	Serum Selenium Levels in Hemodialysis Patients Are Significantly Lower than Those in Healthy Controls	Fujishima Y Ohsawa M Itai K Kato K Tanno K Tanvir Chowdhury Turin Onoda T Endo S Okayama A Fujioka T	泌尿器科学講座
Proc Natl Acad Sci U S A 107(46):19891-6,2010 ○	Testis-specific protein on Y chromosome (TSPY) represses the activity of the androgen receptor in androgen-dependent testicular germ-cell tumors.	Akimoto C Ueda T Inoue K Yamaoka I Sakari M Obara W Fujioka T Nagahara A Nonomura N Tsutsumi S Aburatani H Miki T Matsumoto T Kitagawa H Kato S	泌尿器科学講座
Int J Urol 17(8):707,2010	Editorial comment to IL-16 polymorphism and risk of renal cell carcinoma: association in a Chinese population.	Obara W	泌尿器科学講座
Cancer Sci ○ 2010 May 17,2010	5alphaDH-DOC(5alpha-dihydro-deoxycorticosteron) activates androgen receptro in castration-resistant prostate cancer.	Uemura M Honma S Chung S Takata R Furihata M Nishimura K Nonomura N Nasu Y Miki T Shuin T Fujioka T Okuyama	泌尿器科学講座
NATURE GENETICS 2010 Spe.;42(9):751-754,2010.9	Genomu-wide association study identifies five new susceptibilty loci for prostate cancer in the Japanese population.	Takata R Akamatsu S Kubo M Takahashi A Hosono N Kawaguchi T Tsunoda T Inazawa J	泌尿器科学講座

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
		Kamatani N Ogawa O Fujioka T Nakamura Y Nakagawa H	
Human Molecular Genetics 19(21):4265-4272,2010	A functional variant in NKX3.1 associated with prostate cancer susceptibility down-regulates NKX3.1 expression	Akamatsu S Takata R Ashikawa K Hosono N Kamatani N Fujioka T Ogawa O Kubo M Nakamura	泌尿器科学講座
Nova Science Publishers 145-156,2010	VitaminD and Renal cell carcinoma :preclinical studies and clinical applications.	Iwasaki K Fujioka T	泌尿器科学講座
ONCOLOGY LETTERS 1 2010:697-701,2010.5	Expression of hypoxia-inducible protein 2 in renal cell carcinoma:A promising candidate for molecular targeting therapy	Seo T Konda R Sugimura J Iwasaki K Nakamura Y Fujioka T	泌尿器科学講座
Canser Res. 2010;70(14):5829-5836,2010	cell-permerable peptide DEPDC1-ZNF224 interferes with transcriptional repression and oncogenicity in bladder cancer cells.	Harada Y Kanehira M Fujisawa Y Takata R Shuin T Miki T Fujioka T Nakamura Y Katagiri T	泌尿器科学講座
EXPERIMENTAL AND THERAPEUTIC MEDICINE 1 2010:955-961,2010	Identification of a set of genes associated with response to interleukin-2 and interferon- α combination therapy for renal cell carcinoma through genome-wide gene expression profiling.	Mizumori O Zembutsu H Kato Y Tsunoda T Miya F Morizono T Tsukamoto T Fujioka T Tomita Y Kitamura T Ozono S Miki T Naito S Akaza H Nakamura Y	泌尿器科学講座
Ann Vasc Dis 3(3):196-201,2010	MRI and MRA of Aortic Disease.	Yoshioka K Tanaka R	放射線医学講座
Brachytherapy 10(3):208-213,2010	Effects of ellipsoid prostate deformation on dose delivery during permanent interstitial brachytherapy.	Nakamura R Ishiyama H Tanji S	放射線医学講座

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
		Satoh T Oikawa H Inatsu W Ehara S Hayakawa K	
Cardiovasc Intervent Radiol 33(5):1001-8,2010	Porous gelatin particles for uterine artery embolization: an experimental study of intra-arterial distribution, uterine necrosis, and inflammation in a porcine model.	Sone M Osuga K Shimazu K Higashihara H Nakazawa T Kato K et al	放射線医学講座
J Vasc Interv Radiol 21(11):1665-71,2010	Phase I / II multiinstitutional study of uterine artery embolization with gelatin sponge for symptomatic uterine leiomyomata: Japan interventional radiology in oncology study group study.	Sone M Arai Y Shimizu T Takeuchi Y Higashihara H Ohgi S et al	放射線医学講座
AJR 195(4):895-899,2010	Diagnostic value of cardiac CT in the evaluation of bicuspid aortic stenosis : comparison with echocardiography and operative findings.	Tanaka R Yoshioka K Niinuma H Ohsawa S Okabayashi H Ehara S	放射線医学講座
BMC Med Imaging 10:2,2010	Balloon-occluded retrograde transvenous obliteration for gastric varices: the relationship between the clinical outcome and gastrosplenic shunt occlusion.	Katoh K Sone M Hirose A Inoue Y Fujino Y Onodera M	放射線医学講座
Cardiovasc Intervent Radiol 2010	Subclavian Vein Versus Arm Vein for Totally Implantable Central Venous Port for Patients with Head and Neck Cancer: A Retrospective Comparative Analysis.	Akahane A Sone M Ehara S Kato K Tanaka R Nakasato T	放射線医学講座
Intern Med. 49(12):1089-95,2010	Risk factors concerning sternal bone marrow aspiration and patient safety in Japan.	Inoue H Nakasato T Yamauchi K et al	放射線医学講座
臨床放射線【解説/特集】 55(5):646-52,2010.5	【IVRのエビデンスを求めて】実臨床とエビデンス	曽根 美雪 江原 茂	放射線医学講座
J. Iwate Med. Assoc. 62:417-422,2010	Anesthetic management for cesarean section of a pregnant woman with protein S deficiency	Wakimoto M Nagata H Ishikawa K Suzuki T Ohkawa H Nishigori N Suzuki K	麻酔科学講座
麻酔 60巻、343-352,2011	肝切除術における心房性ナトリウム利尿ペプチドの有用性	田村 雄一郎 永田 博文 佐藤 美浩 新田 浩幸	麻酔科学講座

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
		若林 剛	
Journal of Infection & Chemotherapy 16(2):94-99,2010.04	Effect of linezolid on cytokine production capacity and plasma endotoxin levels in response to I ipopolysaccharide stimulation of whole blood	Takahasi G Sato N Yaegashi Y Kojika M Matsumoto N Kikkawa T Syouzushima T Akitomi S Aoki K Ito N Hoshikawa K Suzuki Y Inoue Y Wakabayashi G Endo S	救急医学講座
Journal of Anesthesia 24(3):351-358,2010.06	A prospective cohort study of ALI/ARDS in the Tohoku district of Japan (second report)	Endo S Shibata S Sato N Hashiba E Tajimi K Saito K Kawamae K Nakane M Murakawa M	救急医学講座
日本救急医学会雑誌 21(6):282-292,2010.06	当センターにおけるアナフィラキシー302例の検討	塩谷 信喜 柴田 繁啓 今井 聡子 小野寺 誠 藤野 靖久 井上 義博 遠藤 重厚	救急医学講座
脳神経外科速報 20(6):711-715,2010.06	中心静脈カテーテル抜去時に発症した脳空気塞栓の一例	松浦 秀樹 斎藤 秀夫 山野目 辰味 小笠原 邦昭	救急医学講座
Digestive Surgery 27:307-312,2010.07	Significance of measuring S100A12 and sRAGE in the serum of sepsis patients with postoperative acetate lung injury	Kikkawa T Sato N Kojika M Takahasi G Aoki K Hoshikawa K Akitomi S Shouzushima T Suzuki K Wakabayashi G Endo S	救急医学講座
The Mt. Fuji Workshop on CVD 28:88-91,2010.07	ワルファリン内服中の脳出血患者における急性期血腫増大と血液凝固第IX因子複合体投与の効果	吉田 雄樹 大間々 真一 枡 一毅 吉田 研二	救急医学講座

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
		小笠原 邦昭 小川 彰	
Annals of Hematology 89(8):825-826,2010.08	Hematoma of the iliopsoas muscle due to thrombocytopenia resulting from the administration of a third-generation cephalosporin.	Onodera M Fujino Y Inoue Y Kikuchi S Endo S	救急医学講座
医学のあゆみ 別冊:268-275,2010.09	最新ARDSのすべて ARDSの病態把握のための生化学的マーカー	遠藤 重厚 小鹿 雅博 佐藤 信博	救急医学講座
医学のあゆみ 別冊:335-339,2010.09	最新ARDSのすべて 好中球エラスターゼ阻害剤	遠藤 重厚 鈴木 泰	救急医学講座
Journal of Anesthesia 24:901-907,2010.10	Suppressive effects of sivelestat on interleukin 8 and TNF- α production from LPS-activated granulocytes in whole blood	Shibata S Takahashi G Shioya N Inada K Endo S	救急医学講座
日本門脈圧亢進症学会雑誌 16(3):148-151,2010.10	静脈瘤出血後早期死亡例に対する治療戦略	藤野 靖久 井上 義博 小野寺 誠 菊池 哲 遠藤 重厚 鈴木 一幸	救急医学講座
エンドトキシン血症救命治療研究会誌 14(1):37-51,2010.12	敗血症治療薬開発最新の話題	遠藤 重厚 鈴木 泰 小鹿 雅博 高橋 学 松本 尚也 小豆嶋 立頼	救急医学講座
エンドトキシン血症救命治療研究会誌 14(1):70-78,2010.12	敗血症における液性因子とそれをターゲットとした治療効果の検討	遠藤 重厚 鈴木 泰 小鹿 雅博 高橋 学 松本 尚也 小豆嶋 立頼 山田 裕彦 青木 英彦 井上 義博	救急医学講座
エンドトキシン血症救命治療研究会誌 14(1):89-92,2010.12	PMX-DHPの重症敗血症に対する新たな適応の可能性	鈴木 泰 小鹿 雅博 高橋 学 松本 尚也 吉川 智宏 星川 浩一 秋富 慎司 塩谷 信喜 眞壁 秀幸 山田 裕彦 青木 英彦 井上 義博 遠藤 重厚	救急医学講座

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
エンドトキシン血症救命治療研究会誌 14(1):111-119,2010.12	エンドトキシン散乱測光法を用いたエンドトキシン測定法の臨床応用における課題	高橋 学 柴田 繁啓 鈴木 泰 小鹿 雅博 松本 尚也 小豆嶋 立頼 稲田 捷也 遠藤 重厚	救急医学講座
エンドトキシン血症救命治療研究会誌 14(1):134-139,2010.12	ステロイド投与によるEndotoxin Activity Assay (EAA) 値に関する検討	松本 尚也 高橋 学 小鹿 雅博 小豆嶋 立頼 及川 博隆 鈴木 泰 稲田 捷也 遠藤 重厚	救急医学講座
岩手学雑誌 62(5):405-409,2010.12	可溶性CD14サブタイプは敗血症の重症度を良く反映する症例報告	小豆嶋 立頼 高橋 学 小鹿 雅博 吉川 智宏 星川 浩一 小野寺 ちあぎ 鈴木 泰 青木 英彦 井上 義博 遠藤 重厚	救急医学講座
岩手医学雑誌 62(5):411-416,2010.12	Evaluations of PRESEPSIN by a point-of-care test (POC test) closely reflect the efficacy of Polymyxin-B-immobilized fiber-direct hemoperfusion (PMX-DHP) : A case report	Shouzushima T Kojika M Takahasi G Kikkawa T Hoshikawa K Kan S Onodera C Matsumoto N Suzuki Y Endo S	救急医学講座
日本救急医学会雑誌 21(12):951-955,2010.12	急性一酸化炭素(CO)中毒におけるCOガスの暴露時間と頭部CT/MRI異常所見の関連性	小野寺 誠 藤野 靖久 井上 義博 菊池 哲 及川 博隆 別府 高明 遠藤 重厚	救急医学講座
Coagulation&Inflammation 5(1):14-18,2011	救命率向上のDIC治療ストラテジー	鈴木 泰 秋富 慎司 遠藤 重厚	救急医学講座
ICUとCCU 35(5):428-429,2011	子宮留膿腫の腹腔穿破	井上 義博 藤野 靖久 小野寺 誠 菊池 哲 小豆嶋 立頼	救急医学講座

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
		星川 浩一 小鹿 雅博 遠藤 重厚	
ICUとCCU 35(6):508-509,2011	局所の門脈圧亢進による胃静脈瘤	井上 義博 藤野 靖久 小野寺 誠 菊池 哲 小豆嶋 立頼 遠藤 重厚	救急医学講座
Journal of Analytical Toxicology 35(2):119-123,2011	A fatal case of acute hydrogen sulfide poisoning caused by hydrogen sulfide : hydroxocobalamin therapy for acute hydrogen sulfide poisoning.	Fujita Y Fujino Y Onodera M Kikuchi S Kikkawa T Inoue Y Niitsu H Takahashi K Endo S	救急医学講座
ICUとCCU 35(2):178-179,2011.02	大量腹水を伴った急性腹症	井上 義博 藤野 靖久 小野寺 誠 菊池 哲 小豆嶋 立頼 鈴木 泰 遠藤 重厚	救急医学講座
CLINICIAN 58(596):91-94,2011.03	セプシスの早期診断と病態把握	遠藤 重厚	救急医学講座
ICUとCCU 35(3):256-257,2011.03	突発性食道破裂	井上 義博 藤野 靖久 小野寺 誠 菊池 哲 小豆嶋 立頼 星川 浩一 小鹿 雅博 遠藤 重厚	救急医学講座
中毒研究 24:51-56,2011.03	中国製健康食品中のグリメピリドおよびロシグリタゾンの検出事例	藤田 友嗣 本間 博之 佐藤 譲 藤野 靖久 小野寺 誠 井上 義博 遠藤 重厚	救急医学講座
Thromb Res. 125(5):438-43,2010	Factor XII Ofunato: Lys346Asn mutation associated with blood coagulation factor XII deficiency causes impaired secretion through a proteasome-mediated degradation.	Suzuki K Murai K Suwabe A Ishida Y	臨床検査医学講座
Tohoku J Exp Med 220:47-57,2010	Trends in antimicrobial susceptibility of Streptococcus pneumoniae in the Tohoku district of Japan: a longitudinal analysis from 1988 to 2007.	Suzuki K Nishimaki K Okuyama K Katho T Yasujima M	臨床検査医学講座

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
		Chihara J Suwabe A Shibata C Takahashi H Takeda S Ito M Kaku A Watanabe T Nukiwa T Niitsuma K Kanemitsu K Takayanagi M Ohno I	
分子呼吸器病学 12(1):48-51,2010	肺サーファクタントおよび肺胞Ⅱ型細胞と緑膿菌クオラムセンシング機構との相互作用	山田 友紀 小笠原 理恵 館田 一博 諏訪部 章	臨床検査医学講座
日本臨床検査自動化学会会誌 35(1):9-16,2010	臨床検査技師のチーム医療および職種間コミュニケーションに対する意識調査 ～大規模な検査現場へのアンケート調査の解析～	松尾 久昭 山名 琢薫 諏訪部 章	臨床検査医学講座
分子呼吸器病学 14(1):96-100,2010	肺胞Ⅱ型細胞の新しい分化維持システムの開発—肺サーファクタント特異蛋白とリン脂質合成酵素の遺伝子発現を指標とした検討	小笠原 理恵 菱川 大介 新藤 英雄 清水 孝雄 林 秀一郎 吉田 康夫 遠山 稿二郎 諏訪部 章	臨床検査医学講座
日本臨床検査自動化学会会誌 32(2):194-199,2007	血清アルブミン測定におけるグロブリンの影響	齋藤 篤 中居 恵 富士本 桂子 諏訪部 章	臨床検査医学講座
日本臨床検査自動化学会会誌 35(5):893-896,2010	自動分析装置を用いた「ホルディア シスタチンC」による血清シスタチンC測定の基礎的検討	齋藤 篤 中居 恵子 千葉 麻美 菊池 正幸 諏訪部 章	臨床検査医学講座
臨床病理 58(12):1236,2010	採血室におけるリスクマネージメント—トラブルの分析から見えてくるもの—	藤井 喜栄子 山端 久美子 諏訪部 章	臨床検査医学講座
臨床病理 58(12):1232,2010	先天性凝固因子異常症の診断と病態解析	鈴木 啓二郎 諏訪部 章	臨床検査医学講座
Clin. Lab. 57:535-541,2011	Cathepsin B, D, and L Regulation in Cyclosporin A-mediated Gingiva Hyperplasia of a Patient with Sarcoidosis	Murai O Naruishi K Ogihara S Suwa N Knazawa S Yaegashi T Takeda Y Kunimatsu K	口腔機能保存学講座 歯周・歯内治療学分野
日本口腔検査学会雑誌	医科歯科連携医療における歯周病原細菌に対する血清IgG抗体価	村井 治	口腔機能保存学講座 歯周・歯内治療学分野

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
3(1):36-41	検査の導入	成石 浩司 佐々木 大輔 大川 義人 八重柏 隆 國松 和司	
岩手医科大学歯学雑誌 36:53-58,2011	根末完成脱落歯に対するアペキシフィケーションを目的とした 歯髄処置の経過報告	成石 浩司 澤田 俊輔 村井 治 武田 泰典 川村 貴史 若林 香枝 桑島 幸紀 三浦 廣行 國松 和司	口腔機能保存学講座 歯周・歯内治療学分野
日本歯科保存学雑誌 53:207-213,2010	IL-6が培養歯髄由来細胞のFGF-2発現に与える影響	藤原 英明 八重柏 隆 島山 節子 武田 泰典 石平 洋二 國松 和司	口腔機能保存学講座 歯周・歯内治療学分野
Journal of Dentistry for Children 77(2):118-122,2010	Severe root resorption associated with ectopically erupting teeth: A case report,	Kakuta H Sone S Matsumoto H Tanaka M	口腔保健育成学講座 小児歯科学分野
日口蓋誌 35(3):250-253,2010	咽頭弁移植術後患者に対し経口挿管にて顎変形症手術を 行った1例	飯島 伸 松尾 伸一 角田 耕一 間山 寿代 三浦 廣行 星 秀樹 杉山 芳樹	口腔外科学講座 歯科口腔外科学分野
法医学の実際と研究 53:121-129,2010	歯科用コーンビームCT装置を利用した歯科的個人識別	熊谷 章子 藤村 朗 杉山 芳樹	口腔外科学講座 歯科口腔外科学分野
International Heart Journal 52:44-49,2011	Clinical significance of combined CYP2C9 and VKORC1 genotype in Japanese patients requiring warfarin.	Miyagata Y Nakai K Sugiyama Y	口腔外科学講座 歯科口腔外科学分野
Oral Science International 8:29-33,2011	Oral Lichenoid Drug Reaction with Autoantibodies in Peripheral Blood: Case Report.	Kumagai A Matuuo S Hoshi H Sato H Takeda Y Sugiyama Y	口腔外科学講座 歯科口腔外科学分野
岩手医科大学歯学雑誌 35(1):1-9,2010	プロポフォールによる静脈内鎮静法時の健忘効果からの回復	小川 さおり	口腔外科学講座 歯科麻酔学分野
Naunyn schmiedebergs archives of pharmacology 381:107-120,2010	Features of distinct contractions induced with a high and a low concentration of KCl, noradrenaline, and histamine in swine lingual artery	Kawaguchi T Satho K Kuji A Joh S	口腔外科学講座 歯科麻酔学分野
岩手医科大学歯学雑誌 35(1):10-19,2010	塩酸デクスメトミジンによる静脈内鎮静法が聴覚性記憶に 及ぼす影響	村上 加奈	口腔外科学講座 歯科麻酔学分野

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本障害者歯科学会雑誌 32:65-72,2011	日帰り全身麻酔を行っている 歯学部附属病院障害者歯科の 診療実態	菊池 和子 熊谷 美保 小坂橋 航 市川 真弓 杣田 明子 久慈 昭慶 杉浦 剛 鈴木 史人 佐藤 健一	総合歯科学講座 障害者歯科学 分野

計:271件

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 小林 誠一郎		
管理担当者氏名	病院事務部長 柳沢 茂人	看護部長 及川 史智子	薬剤部長 高橋 勝雄
	医事課長 塚澤 仁敏	医務課長 水本 義久	

		保管場所	保管方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		病院事務部 診療記録管理室 各診療科 薬剤部 看護部	診療記録等の管理は、1患者1番号制(ID番号)により管理している。入院診療録は、1入院1診療録とし、タミカレデジタル方式による収納としている。外来診療録は1患者各診療科別診療録とし、各診療科による収納としている。 病院日誌等の各種日誌に関しては、診療科ごとに1年分をまとめて保管している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務部人事職員課	1職員1番号(ID番号)により管理している。 1職員1部の人事記録簿を人事職員課にて収納管理している。
	高度の医療の提供の実績	病院事務部 医務課	各技術ごとに病院事務部医務課にて診療報酬明細書をファイリングして管理している。
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	病院事務部 医務課	各診療科からの報告書を基に電子媒体化を行い病院事務部医務課にて管理している。
	高度の医療の研修の実績	"	各診療科からの報告書を基に電子媒体化を行い病院事務部医務課にて管理している。
	閲覧実績	"	閲覧ごとに詳細情報を電子媒体化し病院事務部医務課にて管理している。
	紹介患者に対する医療提供の実績	病院事務部 医務課	紹介日、紹介先診療科ごとに管理システムに入力し病院事務部医務課内医療連携室にて管理している。
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	病院事務部 医務課 薬剤部	医療情報システムからデータを抽出し、紙媒体および電子媒体にて管理している。
	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部

	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	〃	委員会資料、議事録、出席者名簿について開催毎にまとめ紙媒体で医療安全管理部にて管理している。議事録については電子媒体でも管理している。
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	〃	全職員対象研修については電子媒体管理システムに出欠状況を入力し医療安全管理部にて管理している。その他研修については参加者名簿を作成し紙媒体と電子媒体で医療安全管理部にて管理している。
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	〃	医療安全推進委員会にて報告し、また院内通知文にて職員に周知している。その内容については電子媒体ならびに紙媒体にて医療安全管理部にて管理している。
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務部人事職員課	医療安全管理部内電子媒体で管理している。また併せて人事職員課により職員台帳にて管理している。
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療安全管理部 総務部人事職員課	医療安全管理部内電子媒体で管理している。また併せて人事職員課により職員台帳にて管理している。
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部	医療に係る安全管理のための指針に規定し電子媒体および紙媒体で医療安全管理部にて管理している。
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理部及び 医療福祉相談室	各科から寄せられた相談の内容を「相談記録票」にて医療福祉相談室に報告を行い、医療福祉相談室において「受付簿」に記載して報告・記録を綴り、保管している。

(注) 「診療に関する諸記録」欄は、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

		保管場所	保管方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	院内感染対策室 法律の改正等必要に応じて適宜指針を改定し、電子媒体および紙媒体で医療安全管理部に管理している。改廃については岩手医科大学に学定集編集総括管理者に届け出ている。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	院内感染対策室 委員会資料、議事録、出席者名簿について開催毎にまとめ紙媒体で感染対策室にて管理している。議事録については電子媒体でも管理している。
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実態状況	院内感染対策室 全職員対象研修については電子媒体管理システムに入力し感染対策室にて管理している。その他講習会については参加者名簿を作成し紙媒体と電子媒体で感染対策室にて管理している。
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	院内感染対策室 院内感染対策委員会にて報告し、また院内通知文にて職員に周知している。その内容については電子媒体ならびに紙媒体にて感染対策室にて管理している。
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医療安全管理部 総務部人事職員課 医療安全管理部内電子媒体で管理している。また併せて人事職員課により職員台帳にて管理している。
		従事者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部 参加者名簿を作成し紙媒体と電子媒体で医療安全管理部にて管理している。
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部 医薬品安全管理責任者と医療安全管理部で作成および修正を行い院内各部署へ配布しており、電子媒体にて医療安全管理部にて管理している。
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部 医療安全推進委員会にて報告し、また院内通知文にて職員に周知している。その内容については電子媒体ならびに紙媒体にて医療安全管理部にて管理している。
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療安全管理部 総務部人事職員課 医療安全管理部内電子媒体で管理している。また併せて人事職員課により職員台帳にて管理している。
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学室 医療機器材料部会と医療安全管理部が合同で開催する講習会、または部署ごとに実施する研修記録全てを管理している。
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学室 院内中央管理機器については臨床工学室を窓口として実施管理。部署配置機器は各部署ごとに実施記録管理している。

		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部	臨床工学室が情報収集、文章作成を行い、医療安全管理部より各部署へ配布管理となっている。
--	--	---	---------	---

(注) 「診療に関する諸記録」欄は、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧管理者氏名	病院事務部長 柳 沢 茂 人
閲覧担当者氏名	病院事務部医務課長 水 本 義 久 病院事務部医事課長 塚 澤 仁 敏 総務部次長 横 沢 正 浩
閲覧の求めに応じる場所	諸記録閲覧室、カンファレンスルーム、会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延 2 件	
閲覧者別	医師	延 0 件
	歯科医師	延 0 件
	国	延 1 件
	地方公共団体	延 1 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	58.4%	算定期間	平成22年4月1日 ~ 平成23年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数		16,637人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		18,259人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		2,256人
	D: 初診の患者の数		45,255人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 無
<p>・ 指針の主な内容: ①当該病院における安全管理に関する基本的考え方</p> <p>②安全管理委員会(委員会を設ける場合について対象とする。)その他の当該病院等の組織に関する基本的事項</p> <p>③医療に係る安全管理のための従業者に対する研修に関する基本方針</p> <p>④当該病院等における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針</p> <p>⑤医療事故等発生時の対応に関する基本方針</p> <p>⑥医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針(患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針を含む)</p> <p>⑦患者からの相談への対応に関する方針</p> <p>⑧その他医療安全の推進のために必要な基本方針</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・ 活動の主な内容: 当該病院等における安全管理の体制確保及び推進のために設ける</p> <p>①重大な検討内容について、患者への対応状況を含め管理者への報告</p> <p>②重大な問題が発生した場合は、速やかに発生の原因を分析し、改善策の立案及び実施並びに従業者への周知を図る</p> <p>③安全管理委員会で立案された改善策の実施状況を必要に応じて調査し見直しを行う</p> <p>④月1回程度開催するとともに、重大な問題が発生した場合は適宜開催する</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 31 回
<p>・ 研修の主な内容: ③医療に係る安全管理のための基本的考え方及び具体的方策について当該研修を実施する病院等の従業者への周知徹底を行い、個々の従業者の安全に対する意識、安全に業務を遂行するための技能やチームの一員としての意識の向上等を図る</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・医療機関内における事故報告等の整備 (有 無)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容: ①病院において発生した事故の安全管理委員会への報告。</p> <p>②あらかじめ定められた手順、事故収集の範囲等に関する規定に従い事例を収集、分析し、病院における問題点を把握して病院の組織としての改善策の企画立案及び実施状況を評価し病院において情報を共有する。</p> <p>③重大な事故の発生時には、速やかに管理者へ報告する。なお、事故の報告は診療録、看護記録等に基づき作成する。</p>	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (2名)・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の設置状況	有 (2名)・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 無
<p>・所属職員: 専任(2)名 兼任(9)名</p> <p>・活動の主な内容: ①安全管理委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び保存。その他安全管理委員会の庶務に関する活動。</p> <p>②事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされているかの確認及び指導を行う。</p> <p>③患者や家族への説明など事故発生時の対応状況についての確認及び指導を行う。</p> <p>④事故等の原因究明が適切に実施されていることの確認及び指導を行う。</p> <p>⑤医療安全に係る連絡調整、及びその他医療安全対策の推進に関する活動。</p>	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 無

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有 無
<p>・ 指針の主な内容: ①院内感染対策に関する基本的考え方</p> <p style="padding-left: 40px;">②院内感染対策のための委員会(委員会を設ける場合を対象とする。)その他の当該病院等の組織に関する基本的事項</p> <p style="padding-left: 40px;">③院内感染対策のための従業者に対する研修に関する基本方針</p> <p style="padding-left: 40px;">④感染症の発生状況の報告に関する基本方針</p> <p style="padding-left: 40px;">⑤院内感染発生時の対応に関する基本方針</p> <p style="padding-left: 40px;">⑥患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針</p> <p style="padding-left: 40px;">⑦その他の当該病院等における院内感染対策の推進のために必要な基本方針</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・ 活動の主な内容: 当該病院等における院内感染対策の推進のために設ける</p> <p style="padding-left: 40px;">①重要な検討内容について、院内感染発生時及び発生が疑われる際の患者への対応状況を含め、管理者への報告</p> <p style="padding-left: 40px;">②院内感染が発生した場合は、速やかに発生の原因を分析し、改善策の立案及び実施並びに従業者への周知を図る</p> <p style="padding-left: 40px;">③院内感染対策委員会で立案された改善策の実施状況を必要に応じて調査し、見直しを行う</p> <p style="padding-left: 40px;">④月1回程度開催するとともに、重大な問題が発生した場合は適宜開催する</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 14 回
<p>・ 研修の主な内容: ①院内感染対策のための基本的考え方及び具体的方策について、当該研修を実施する病院等の従事者に周知徹底を行うことで、個々の従業者の院内感染に対する意識を高め、業務を遂行する上での技能やチームの一員としての意識の向上等を図る</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.耐性菌検出時、感染症対策室にメールと電話で連絡。また同時に担当医に耐性菌警告書と電話で連絡。 2.感染症発生時、病棟師長・担当医から連絡、感染症報告書の提出 3.検査部から院内感染症情報(1回/週)の報告 4.検査部から感染対策委員会での報告(1回/月) <p style="padding-left: 40px;">*当院アウトブレイク規程に基づいて対応</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容: ①院内感染の発生状況を把握するため、病院における感染症の発生動向の情報を共有し、院内感染の発生の予防及びまん延の防止を図る。</p> <p style="padding-left: 40px;">②重大な院内感染が発生し、院内のみでの対応が困難な事態が発生した場合、または発生したことが疑われる場合は地域の専門家等に相談が行われる体制の確保。</p> <p style="padding-left: 40px;">③「院内感染対策の指針」に即した院内感染対策マニュアルの整備、及び見直し。</p>	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための実施状況	年 2 回
<p>・ 研修の主な内容: ①医薬品の有効性・安全性に関する情報、使用方法に関する事項</p> <p>②医薬品の安全使用のための業務に関する手順書に関する事項</p> <p>③医薬品による副作用等が発生した場合の対応(施設内での報告、行政機関への報告等)に関する事項</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有・無)</p> <p>・ 業務の主な内容: ①病院等の規模や特徴に応じて以下の事項を含む手順書について安全管理委員会で協議を行い作成または変更を行う</p> <p>①病院等で用いる医薬品の採用・購入に関する事項</p> <p>②医薬品の管理に関する事項(例=医薬品の保管場所、薬事法(昭和35年法律第145号)などの法令で適切な管理が求められている医薬品(麻薬・向精神薬、覚せい剤原料、毒薬・劇薬、特定生物由来製品等)の管理方法)</p> <p>③患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する事項(例=患者情報(薬剤の服用歴、入院時に持参してきた薬剤等)の収集、処方箋の記載方法、調剤方法、処方箋や調剤薬の監査方法)</p> <p>④患者に対する与薬や服薬指導に関する事項</p> <p>⑤医薬品の安全使用に係る情報の取扱い(収集、提供等)に関する事項</p> <p>⑥他施設(病院等、薬局等)との連携に関する事項</p> <p>⑦手順書に基づく業務の実施については、医薬品安全管理責任者に対して、従業者の業務が医薬品業務手順書に基づき行われているか定期的に確認し、確認内容の記録を行う</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容:</p> <p>厚生労働省ホームページ、PMDAホームページ、日本医療評価機構ホームページ、製薬会社、日本病院薬剤師会ホームページ、業界新聞等から情報を収集している。</p> <p>また、収集した医薬品情報に関して迅速に適切な措置を講じる体制を構築している。</p> <p>現在、定期的に医療安全推進室からの「医薬品・医療機器等安全性情報」および薬剤部からの「DI ニュース」を通じて情報を周知している。また、必要に応じ医療安全推進室からの医療安全通知および薬剤部からの業務連絡により緊急の通知に対応している。また、必要に応じて安全使用のための講習会にて改善のための方策を周知・実施している。</p>	

医療機器に係る安全使用のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実態状況	年 50 回以上
<p>・ 研修の主な内容: ◎新しい医療機器の導入時及び特定機能病院における定期研修は以下の研修を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ○医療機器の有効性・安全性に関する事項 ○医療機器の使用方法に関する事項 ○医療機器の保守点検に関する事項 ○医療機器の不具合等が発生した場合の対応(施設内での報告、行政機関への報告等)に関する事項 ○医療機器の使用に関して特に法令上遵守すべき事項 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の策定 (有 <input checked="" type="radio"/> ・ 無 <input type="radio"/>)</p> <p>保守点検の主な内容:・臨床工学技士による保守点検</p> <ul style="list-style-type: none"> 年2回の院内定期点検、および使用年数・作動時間に基づいて消耗部品の交換 ・メンテナンス契約によるメーカーまたは専門業者による保守点検 年1回、機種によっては年2回の外注による動作点検・消耗部品の交換 ・保守契約付リース機器における専門業者による保守点検 年1回のメーカー点検表に基づいた定期点検・消耗部品の交換 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・医療機関内における事故報告等の整備 (有 <input checked="" type="radio"/> ・ 無 <input type="radio"/>)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容:①医療機器の添付文章、取り扱い説明書等の医療機器の安全使用・保守点検に関する情報の整理及び管理。</p> <p>②医療機器の不具合情報や安全性情報等の安全使用のために必要な情報を製造販売業者から一元的に収集し、得られた情報を医療機器に携わる職員に対して適切に提供する。</p> <p>③管理している医療機器の不具合や健康被害等に関する内外の情報収集に努め、病院管理者への報告を行う。</p>	